

課題

文学部……………C- 2
 文化社会学部……………C- 8
 教養学部……………C-14
 児童教育学部……………C-16
 体育学部……………C-17
 健康学部……………C-22
 法学部……………C-23
 政治経済学部……………C-24
 経営学部……………C-26
 国際学部……………C-27
 観光学部……………C-28

情報通信学部……………C-29
 理学部……………C-30
 情報理工学部……………C-34
 建築都市学部……………C-37
 工学部……………C-39
 海洋学部……………C-47
 人文学部……………C-51
 文理融合学部……………C-52
 農学部……………C-55
 国際文化学部……………C-58
 生物学部……………C-60

課題作成上の注意

課題の内容等について、出願後の追記・修正・添付資料の追加等の申し出は一切認めません。
 出願する際に、再度各学科・専攻が指定する課題の形式を確認してください。

- 注意**
- 各学科・専攻ごとに課題作成における「形式」が異なります。指定された「形式」以外で提出された場合は、評価に影響します。
 - 課題の作成にあたり、ホームページ・参考書の図や資料などを用いたり、他人の文章を引用したりする場合には、必ずその出典（著者名、題名、出版年、ページ等）を明記し、あなたの考えや意見との区別がわかるようにしてください。
 - 課題の作成にあたり、現地調査や団体などを訪れる際は、訪問先に目的を告げ、その目的以外には調査の内容を使用しない旨を必ず説明してください。また、相手や周りの人たちに迷惑をかけないようにしてください。
 - 手書き用の課題提出用紙は、原稿用紙とレポート用紙がありますので、各学科・専攻の指定を確認してください。課題提出用原稿（レポート）用紙は、必要に応じて複写して使用してください。
 - 原稿（レポート）用紙は、本学所定のものに限定しません。市販の原稿用紙や、パソコン等で作成する場合は、A4用紙を使用し作成してください。
 ただし、以下の項目については、必ず原稿（レポート）用紙1ページ目の1行目に明記してください。
 - ・「課題番号（志望する学科・専攻において、課題が選択できる場合）」
 - ・「タイトル（志望する学科・専攻において、課題にタイトルをつけるよう指示がある場合）」
 - ・「氏名」及び「志望学部・学科・専攻」

【記入例】 課題番号：(2) タイトル：「裁判員制度の課題」 氏名：東海二郎 志望：法学部法律学科

- 課題が複数枚にわたる場合は、すべての用紙にページ番号を記入のうえ、左上(タテ書きの場合は右上)をホッチキスでとめてください。

■ 課題

下記の3つの課題から、あなたが入学後文明学科で学びたいことと関連しそうなものを1つ選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) 古今東西の思想家の中から1人を選び、その生涯や思想内容についてまとめてください。
- (2) 現代の科学技術の発達、私たちの生活にさまざまな恩恵をもたらしています。それと同時に多くの害悪をもたらしていることも否めません。あなた自身の衣食住などの生活環境を観察し、科学技術がもたらす恩恵と害悪の例を挙げるとともに、意見を述べてください。
- (3) これからの日本は、どのようになっていくのでしょうか。今から50年後におおよそ70歳になったあなたを想定して、その時代の家族・経済・社会などの姿について述べ、これから社会として備えるべきことに関して意見を述べてください。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）2,000 字～ 2,500 字
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、25 字× 20 行）2,000 字～ 2,500 字
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題を正しく受けとめて、テーマを具体的に絞り込んでいるか。
- ・借り物ではない、あなたらしい考察・理解がなされているか。
- ・日本語として簡潔で論理的な文章になっているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

- ・上記課題について、口頭で説明できるように準備してください。
- ・配付資料を用いる際は、A4 用紙 2 枚の「概要」として、自分用を含めて3部準備してください。配付資料には、①氏名、②選んだ課題の番号、③課題のタイトル、④本文の順に記入してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	2 枚程度
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料	○	A4 用紙 2 枚以内 3 部（面接者 2 部、受験生 1 部）

※「①」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

文学部 歴史学科 日本史専攻

●湘南キャンパス

課題

大学における日本史の学びは、ただ暗記するだけでは成立しません。文献や史料を読み解き、新たな発見をとおしてオリジナルな歴史像を描くとともに、その意義を他者に説明することが求められます。

そのため本専攻では、興味や関心に基づいて課題を設定し、その課題を解き明かすための方法を検討して取り組み、そこから得られた成果を、論理的な文章にまとめたり、工夫しながらわかりやすくプレゼンテーションしたりすることができる力を重視しています。

日本史上であなたが関心のあるテーマ（制度、人物、事件など）について、複数の書物（教科書や受験参考書は除く）を読んで、2,000 字程度のレポートにまとめてください。その際、以下の点に注意してください。

- ①そのテーマのどのような点に関心があるのか、必ず明記してください。
- ②あなたの考えを必ず明記してください。
- ③(例) にならって、レポート作成に際して活用した文献の著者名・書名・出版社・出版年をレポートの文末にまとめて必ず明記してください。なお、ページを改める必要はありません。また、指定の字数には含みません。
(例) 坂井孝一『承久の乱 真の「武者の世」を告げる大乱』(中央公論新社、2018 年)
神田千里『織田信長』(筑摩書房、2014 年)
- ④インターネット上に公開された文章、図表などをそのまま引用することはできません。

形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）、2,000 字程度、5 枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 30 行）、2,000 字程度、2 枚程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・テーマ（関心のある制度、人物、事件など）を選択した理由が明確に示されているか。
- ・調べた内容だけでなく、あなたの意見も明記されているか。
- ・活用した文献が課題との関連で適切なものであるか。
- ・誤字・脱字や文法上の誤りがなく、論理的な文章になっているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

提出した課題（レポート）の内容について説明できるように準備してください。準備に際しては課題の内容を、図や表を加えて模造紙（2 枚程度）にまとめ、課題発表の際、それを資料として使いながら説明してください。その際、準備してきたメモなどを見ても構いませんが、原稿の棒読みは避けてください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について		
①模造紙	必	2 枚程度
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料		

文学部 歴史学科 西洋史専攻

●湘南キャンパス

課題

歴史学科西洋史専攻は、過去の歴史からの学びを根拠に、現代社会に対して自分なりに意義ある提案をできる人間を育成することをめざします。

西洋史の各時代（古代～現代）の中であなたが関心を持っているテーマ（政治史、事件史、社会史、宗教史、経済史、文化史、女性史、民衆史など）について、2冊以上の文献（世界史の教科書、学習参考書、事典は除く）を使って深く調べ、3,000字程度にまとめてください。その際、以下の点に注意してください。

- ①テーマを選んだ動機や理由を最初に明記してください。
- ②あなたの考えを明記してください。
- ③結論を書いてください。
- ④使用した文献の著者・書名・出版社・出版年を必ず文末にまとめて（例）にならって明記してください。
（例）芝健介『ホロコーストナチスによるユダヤ人大量殺戮の全貌一』（中公新書 2008年）
ロバート・ジェラテリー（根岸隆夫 訳）『ヒトラーを支持したドイツ国民』（みすず書房 2008年）

形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きのみ：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）3,000字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表・参考文献は、指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・テーマを選んだ動機や理由が、明確にかつわかりやすく書かれているか。
- ・使用した文献を読みこなし、理解しているか。
- ・単に調べた内容を明記しただけでなく、あなたの意見や考えを論理的に述べているか。
- ・結論は本論の内容に基づいて書かれているか、主観的な感想だけになっていないか。
- ・誤字・脱字がなく、段落・改行や句読点つけがきちんとなされているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は12分程度とし、それに対する質疑応答を8分程度及び面接試験（口述試験含む）を5分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

- ・上記課題について、説明できるように準備してください。
- ・課題発表の際、模造紙3～4枚にテーマに関する説明・図・写真・表・地図やデータをまとめ、それを黒板等に貼りつけて資料として使いながら面接者等の前で説明してください。
- ・メモを見ながらの発表は差しつかえありませんが、棒読みは避けてください。
- ・模造紙に作成した資料も評価の対象になります。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	必	3～4枚
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料		

課題

あなたの住んでいる地域（市町村内や、広く見た場合には都道府県内）の遺跡を博物館や書籍、インターネットを使って探し、その遺跡を題材にして以下の3項目を調べ、その結果をもとにして、あなたが学んだことや考えたことを、所定の形式に沿ってレポートにまとめてください。

- ①その遺跡はいつごろのもので、集落・古墳・墓・窯跡など、どのように使われたと考えられるのか。周辺に同時代の類似した遺跡はあるか。
- ②その遺跡が作られた時代の特徴はどのようなものと考えられているか。
- ③その遺跡は、なぜその場所に作られたと考えられるか。

遺跡の場所を確認する際には、必ず実際に遺跡を訪問してください。そのうえで、遺跡の立地について、地図中に記録する、インターネットの地図検索サイトを使用するなど、あなた独自の工夫をして確認してください。なお、使用した参考文献（『〇〇県史』、『〇〇市史』、各種歴史関連図書や文献、発掘調査報告書、インターネットサイトなど）について、課題の文末に「参考文献」として必ず明記してください。

形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きのみ：本文（文章）はA4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）2,400字程度、6枚程度
- ・「参考文献」及び図表や写真については、指定された字数・枚数には含みません。本文とは別にしてA4用紙にまとめて提出してください。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・遺跡・遺物に触れた「実感」が具体的に文章や図・写真などを用いて表現されているか。
- ・調べた諸項目について論理的にまとめられているか。
- ・課題に取り組むうえで抱いた自分の疑問や考え、意見が明確に記述されているか。
- ・参考文献の内容を正確に理解しているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

発表の際には、補助資料として模造紙（2枚以内）に課題の内容をわかりやすくまとめたものを準備しても構いません。質疑応答では、①あなたの調べた課題内容、②関連する基礎的歴史知識（日本史・世界史など、高等学校教科書の範囲）について質問をします。自信をもって答えられるように万全の準備をしておいてください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	2枚以内
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料		

文学部 日本文学科

■ 課題

日本語の文学作品（古典・近現代を問わないが、翻訳は除く。また、2000 年以後に発表された作品を主要な題材とすることは不可。）の中から「山」にかかわる作品を選び、その「山」がその作品の中で果たしている効果や表現の特色について、調査や考察をまじえて論じてください。

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（タテ書き、20 字× 20 行）4 枚
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（タテ書き、40 字× 40 行）1 枚
- 写真や表は指定された枚数に含みません。【図 1】【表 1】等のキャプション（見出し）をつけ、別紙（A4 用紙）にまとめてください。

※手書きでもパソコン等での作成でも、行数の多少の増減は認めます。参考文献は行数に含めません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 論じた内容を的確に表すわかりやすいタイトルがつけられているか（本題に副題を添えても構わない）。
（例）『『百人一首』における山——表現の特徴——』、『太宰治『富嶽百景』——富士山の描写について——』
- 全体の構成が「問題提起（注目した場面についての説明等）」「検証（注目した場面についての解析）」「結論（解析結果と自分の意見及びその証明）」という論理的展開になっているか。
- 特定の文学作品を取りあげ論じつつ、文学や日本語全体にかかわるような大きなテーマが見えるように論じられたか。
- 誤字・脱字、文法上の誤りはないか。
- 作品の読解が的確で客観性を保っているか（自説の証明に成功しているか）。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

課題発表にあたっては、必ず B4 用紙タテ書きで 3 枚以内の発表資料を 3 部作成し、2 部を面接者等に提出してください。そのほか自由な工夫を期待しています。

※主な評価ポイントは次の通りです。基本的に作品の読解や自説の構成力、発表力を審査します。個性豊かな発表を期待しています。

- ①発表内容にふさわしい資料が作られているか（提示された資料に過不足はないか。パソコン等を使用した場合、効果的に用いられたか）。
- ②資料の構成はわかりやすいか。
- ③発表態度は好感が持てるか。
- ④発表時間を守ることができたか。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		大学で準備します。 持参してください。
③パソコン	○	パソコンを持参する場合は、HDMI 端子のケーブルが接続可能なものにしてください。 発表データはパソコンに入れておき、万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	必	B4 用紙タテ書き 3 枚以内、3 部（面接者 2 部、受験生 1 部）

文学部

英語文化コミュニケーション学科

●湘南キャンパス

■ 課題

異なる言語や文化を持つ人々が平和に共存していくためには、何が重要でしょうか。以下の2点を必ず含めて、自分のことばでわかりやすく論じてください。

- ①歴史上に実際に起きた出来事あるいは最近の世界の時事例を取り入れること。
- ②複数の参考文献に書かれていたことを引用して、自分の論点と関連づけること。（使用した引用文献名を、答案用紙の末尾または裏面に記入してください。）

■ 形式

- ・手書きのみ：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）4 枚程度、1,600 字程度
- ・使用した参考文献を、原稿用紙の最終ページに記入してください。参考文献が最終ページに収めきれない場合は、最終ページの裏面にも書いて構いません。参考文献は、指定された字数には含みません。なお、インターネット上の情報は参考文献として認めません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・内容が首尾一貫し、まとまっているか。
- ・問題意識をもって取り組んでいるか。
- ・参考文献を調べ、適切な部分を引用しているか。
- ・自分の意見が提示できているか。
- ・誤字・脱字がなく、段落・改行や句読点つけがきちんとなされているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「英語による課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 5 分程度とし、それに対する質疑応答を 10 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

- ・提出した課題について英語でプレゼンテーション（口頭発表）をしてもらいます。
英語で原稿を作り、発音も含めて発表の練習を重ねたうえで、原稿を見ずに発表してください。
- ・プレゼンテーション（口頭発表）の後、内容について英語による質疑応答を行います。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について		
①模造紙	×	
②プロジェクター		
③パソコン		
④配付資料		

文化社会学部
アジア学科

●湘南キャンパス

文化社会学部

課題

アジアに関してはさまざまなテーマがあります。躍動する東南アジア経済、中国の地域環境、三国志などの歴史群像、韓国の大衆文化、インド映画、中東和平、アジアの言語政策、アジア各地の世界遺産などがその例です。あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ設定し、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。

- ①そのテーマに関心を寄せるようになった理由
- ②そのテーマを深く理解するために用いた参考文献（本やその他の資料）
- ③調べたことで得られた結果
- ④その結果に対するあなた自身の意見

[注意]

ここでいう「アジア」は、アジア学科のカリキュラムに即して、エジプト・北アフリカ地域を含みます。日本は含まないので注意してください。

説明のため、図表や写真のコピーなどを添付しても構いません。

課題は提出前に自分用としてコピーを1部とり、そのコピーを第二次選考試験日に持参してください。

形式

- ・課題の冒頭にはタイトルを必ず明記し、本文ではまとまりごとに見出しをつけてください。
- ・手書きの場合：A4 原稿用紙 5 枚程度（ヨコ書き、20 字× 20 行、2,000 字程度）
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙 3 枚程度（ヨコ書き、40 字× 20 行、2,000 字程度）
- ・参考文献は文章・図表と別にして、書名・著者名・出版社名・出版年を明記して A4 用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数に含みません。
- ・図表・写真を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙 3 枚以内にまとめてください。なお、図表などは指定された字数・枚数に含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・あなたの興味や関心、テーマの選択理由が明記されているか。
- ・参考文献を十分に読んだうえで作成しているか。
- ・参考文献が明記されているか、また調べた方法が明示されているか。
- ・調べた結果、どのような知見が得られたのか明記されているか。
- ・あなたの意見、今後の研究の方向性などが明記されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

第一次選考時に提出した課題をそのまま読み上げるのではなく、必ず新たな内容を含めた発表資料を示して発表してください。

発表資料とは、発表内容を模造紙に書いたものや、フリップボード、模型、面接者に対して配付するレジュメ（発表内容の要約）やプリント類のことをいいます。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用する模造紙や資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	3 枚程度
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料	○	3 部
⑤その他	○	フリップボード、模型

※ 「①」、「④」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」と「④」と「⑤」の組み合わせも認めます。

課題

ヨーロッパやアメリカの地域・文化を理解するための研究旅行計画を立案してください。文化や歴史などについて、あなたなりの視点から旅行の目的を設定し、日程表を作成してください。その架空の旅路を通じて得られるであろう成果について説明してください。

※単なる観光名所の羅列ではなく、現在のあなたにとって重要と思われる見学先を選んで、滞在日数12日以内の行程を組み立ててください。同一都市に連泊しても構いません。また、移動の手段や所要時間についても具体的に考慮してください。

(例)

- ・キリスト教をテーマにするなら、カトリックの中心、サン・ピエトロ大英堂とヴァチカン博物館だけでなく、プロテスタントの史跡を訪ねて、ルターが活躍したヴィッテンベルクの宗教改革博物館に行くなど、幅広い視点にたった計画を立てるのも一案です。
- ・人種差別をテーマにするなら、アメリカ黒人の歴史をワシントン DC の国立アフリカ系アメリカ人歴史文化博物館で学んだあと、ミネアポリスでジョージ・フロイド殺害事件（2020 年）の追悼地に行き、さらに奴隷貿易の拠点であった英国リバプールやフランスのナントを訪れるといった案も考えられます。

形式

- ・パソコン等での作成のみ：A4 用紙（ヨコ書き、1 枚 1,000 字～1,200 字）2,000 字程度
- ・地図や図表を用いても構いません（途中に挿入しても、最後にまとめてもよい）。原則としてヨコ書きで、形式は自由です。各自でレイアウトを考えてください。ただし、地図や図表を除く字数が 2,000 字程度となるようにしてください。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・研究旅行の目的が明確で、かつ旅程が具体的であるか。
- ・目的に応じた訪問先が設定されているか（とくに複数の訪問先が相互に関連していること）。
- ・その旅行を通じて得られるであろう成果について、自分なりに考えをまとめているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

- ・課題発表の際、手持資料として課題のコピー、その他の資料等を用いても構いません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	枚数、サイズは任意
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料		
⑤その他	○	スケッチブック、紙芝居等

課題

北欧に関連するさまざまな事柄（例えば北欧の言語・歴史・文化・社会など分野は問いません）の中であなたが最も関心を寄せるテーマを1つ選び、以下の4項目が明らかになるようにレポートを書いてください。

- ①そのテーマに関心を寄せるようになった理由は何でしょうか。
- ②テーマに関連した図書を2冊以上読んでください（インターネットの情報だけに依存しないでください）。さらに深く知ろうとするために、どのようなことを行いましたか（たとえば、どのような資料を用いて調査したか、どのような人々に接して情報を得たか、どのような体験をするよう努めたか等）。
- ③それによって得られた結果（知識や経験等）は何でしょうか。
- ④その結果に対してあなた自身はどのように考えますか。

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）5 枚程度
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、1 枚あたりの文字数は自由）2,000 字程度
- 図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 原稿の最後に参考文献・資料を明記してください。なお、参考文献・資料は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- テーマの選択理由が説得力をもって書かれているか。
- 参考文献や資料がどのようなものか、あるいは調査の方法がどのようなものかがしっかりと説明されているか。
- 調査によってわかったことが明確に示されているか。
- あなたの考えが明確に示されているか。
- 表現や書き方がレポートとしてふさわしいものであるか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

課題発表での主な評価ポイント

- 第一次選考より深められているか
- 十分に準備をした発表となっているか（資料・時間・発表態度）

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	3 枚程度
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	○	大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	3 部（面接者 2 部、受験生 1 部）

※ 「①」、「②・③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」と「④」、「②・③」と「④」の組み合わせも認めます。

課題

下記の2つの課題1.と2.について、所定の形式に沿って作成したものをそれぞれ提出してください。

1. 以下の中から1つ選び、1,600字程度の文章にまとめなさい。

(1) 夏目漱石の『夢十夜』を読み、その作品の魅力について、作中の表現を具体的に引用しながら語りなさい。

(2) 宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』を読んで、作中にちりばめられた象徴について調査・解説しなさい。

(3) ゴーゴリの『鼻』を読んで、作中の「鼻」とはどういう存在なのか考えなさい。
2. 以下の中から1つ選び、800字程度のレポートを作成してください。

(1) あなたがこの半年間で、足を運んで鑑賞した美術展について、その感想や考察をまとめてください（複数の美術展でも可）。

(2) あなたがこの半年間に観た映画（アニメも可）あるいは舞台（演劇・オペラなど）について、その考察を800字程度にまとめてください（複数の作品でも可）。

形式

- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、1枚あたりの字数は自由）
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

共通評価ポイント

- ・必要な情報が、正確な文章で明記されているかどうか。

課題1. についての評価ポイント

- ・指示に従った形で、その人ならではの作品の見方が表現されているかどうか。

課題2. についての評価ポイント

- ・現場に立ち会った者ならではの内容が表現されているかどうか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を10分程度及び面接試験（口述試験含む）を5分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

課題原稿そのものの音読は望ましくありません。また、課題図書と発表用メモ及び提出した課題文の写し以外の資料の持ち込みは認めません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		
③パソコン		
④配付資料		

課題

- 2024年10月以降の新聞社またはテレビ局による報道について、社会的に重要だと思われる記事を選び(ジャンルは自由、複数でも可)、①その内容を簡潔に要約し、②その報道の仕方にかかる特徴や課題があるのかを指摘し、③その特徴や課題について、あなたの考えや意見・提案などを小論文にまとめて提出してください。なお、つぎの点に留意してください。
- 例として取りあげた記事(新聞のコピーまたは新聞社、テレビ局のWeb ページをプリントしたもの ※Yahoo! News などポータルサイトは不可)を添付してください。
 - 小論文に図表を添付しても構いません。
 - 参考文献(参考記事)を明記してください。

形式

- 手書きの場合: A4 原稿用紙(ヨコ書き、20 字× 20 行) 4,000 字以内
- パソコン等で作成する場合: A4 用紙(ヨコ書き、40 字× 30 行) 4,000 字以内
- 必ずタイトルをつけてください。
- 課題文の中の①～③は、中見出しではありませんので、注意してください。
- 図表・参考文献を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。
※図表・参考文献は小論文の字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 提出した課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- 課題の中の①～③を踏まえて、論理的に書かれているか。
- 問題提起と結論が、明確に述べられているか。
- 感想文にならず、客観的な根拠を示し、自分の主張を明確に行っているか。
- 誤字・脱字がなく、文章作法を適切に守っているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 5 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験(口述試験含む)を 15 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

発表の際、手持資料としてメモを見ることのみ許可します。

【 必: 必須 ○: 可能 ×: 不可 】

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		
③パソコン		
④配付資料		

文化社会学部 心理・社会学科

●湘南キャンパス

文化社会学部

課題

私たちが日々暮らしている这个世界には、さまざまな問題*が存在しています。あなたが重要と考える問題を1つ取り上げて、以下の①と②に答えてください（あわせて1,600字以上2,000字以内）。回答にあたって、文献やWebサイト等をよく調べるようにしてください。また、調べたことをまとめるだけでなく、自分なりの考察を加えるようにしてください。

- ①その問題の現状について説明してください。
- ②その問題はなぜ生じる（生じた）のかについて考察し説明してください。問題の背景にあると考えられる、心や社会のあり方に触れるようにしてください。

*ここでの「問題」とは、たとえば、学校でのいじめ、性的マイノリティーへの差別、子どもの貧困、少子高齢化等のことです。この4つの例はあくまで例ですので、いずれかを取り上げる必要は必ずしもありません（取り上げてもかまいません）。自分が重要と考える問題を自由に取り上げててください。何を問題として取り上げるかに迷った場合には、次の文献やWebサイトを参考にしてもよいかもしれません（参考にしなくてもかまいません）。
橋木俊詔, 2021, 『日本の構造——50の統計データで読む国のかたち』講談社。
JICA, 2025, 「つながる世界と日本」, JICA ホームページ, (2025年2月18日取得, https://www.jica.go.jp/aboutoda/find_the_link/).

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 本文は手書きで作成してください。分量は、A4 原稿用紙(ヨコ書き、20 字× 20 行)4～5 枚(1,600 字以上 2,000 字以内)とします。
- 文献や Web サイト等を参考にした部分では、何を参考にしたのかがわかるように出典を明示してください。
例) 見田宗介は、「貧困は、金銭をもたないことにあるのではない」(見田 2018:104-5) とする。見田によると、貧困は、「金銭を必要とする生活の形式の中で、金銭をもたないことにある」(見田 2018 : 105)。
- 参考にした文献や Web サイト等のリストを、本文とは別にして A4 用紙にまとめてください。指定された字数、枚数には含みません。このリストについては、手書き、パソコン等どちらも可とします。
例) 見田宗介, 2018, 『現代社会の理論——情報化・消費社会の現在と未来』(改訂版, 増補) 岩波書店。
厚生労働省, 2025, 「働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト こころの耳」, 厚生労働省ホームページ, (2025 年 2 月 18 日取得, <https://kokoro.mhlw.go.jp>).
- 図表を用いる場合は、本文とは別にして A4 用紙にまとめてください。指定された字数、枚数には含みません。図表の作成は、手書き、パソコン等どちらも可とします。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 取り上げた問題について、文献や Web サイト等を十分に調べているか。
- 調べたことをまとめるだけでなく、自分なりの考察を加えることができているか。
- 問題の背景にあると考えられる、心や社会のあり方に触れているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は8分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を12分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。
課題発表では、上記課題への回答をまとめ直して発表してください。回答内容がよく伝わるように、プレゼンテーションを工夫してください。使用できる機器等は下記の通りです。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で使用できる機器等について		
①模造紙	○	2～3枚程度
②プロジェクター	○	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	3部(面接者2部、受験生1部)

※「①」、「②・③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」と「④」、「②・③」と「④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

今や、私たちが生きていくうえで、「環境」は、どの分野においても欠かすことのできないキーワードとなっています。下記の3つの課題から1つを選び、その課題に取り組んだ内容について、「あなたが人間環境学科で身につけたい力や取り組んでみたいことから」も含めてまとめたものを提出してください。

- (1) 身近な自然環境について、その特徴や状態を調査し、人間活動とのかかわりについて説明してください。
- (2) 地球環境問題とされるもののうち1つを取りあげ、その問題の現状と課題及びその問題の解決手段について説明してください。
- (3) 地域問題、社会問題のいずれかに関する新聞記事を1つ取りあげて、①その記事になぜ関心を持ったのか、②その記事にどのような意見を持っているかを述べてください。なお、①は400字程度、②は800字程度でまとめるようにしてください。選択した新聞記事をA4用紙にコピーして、その記事の出典を「〇〇新聞、〇〇年〇〇月〇〇日付朝刊（あるいは夕刊）」のように明記して、同封してください。新聞は全国紙が望ましいです。

■ 形式

下記の形式に沿って概要を作成してください。

- ・手書きの場合：A4レポート用紙（ヨコ書き）、1,600字以内、2枚以内
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き）、1,600字以内、2枚以内
- ・必ずあなたが考えたタイトルをつけてください。
- ・参考にした書籍や雑誌等は参考文献として記述してください。なお、図表・参考文献は指定された字数・枚数には含まれません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題作成において参考としたもの（体験や調査の内容及び結果、書籍や雑誌、新聞記事など）が示されているか。
- ・読む人にわかりやすい記述になっているか。
- ・タイトルと課題の内容が一致しているか。
- ・あなたの意見を明確に述べているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

- ・上記課題の中であなたが選んだものを説明できるように準備してください。
 - ・発表については、下記の2つの発表形式から1つ選んでください。
 - ① B1判程度の大きさの模造紙（枚数自由）で発表資料を作成し、それを用いて発表する。
 - ② コンピュータソフトで発表資料を作成し、それをプロジェクターで投影して発表する。
- なお、課題発表時にメモを持参しての発表は可能ですが、メモを読み上げるだけの発表はしないことが望ましいです。また、上記の発表形式に加えて資料を配付することは可能です。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用する模造紙や資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使える機器等について		
①模造紙	○	B1判程度、枚数自由
②プロジェクター	○	大学で準備します。
③パソコン		持参してください。 パソコンを持参する場合はVGA端子、HDMI端子、マイクロHDMI端子またはMini Display Portのいずれかのケーブルが接続可能なパソコンを持参してください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	3部（面接者2部、受験生1部）

※「①」、「②・③」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「④」は必要に応じて選択した発表形式の補助資料として用いてください。「④」のみによる発表はできません。

■ 課題

- 下記の2つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。
- (1) あなたが魅力的に感じた芸術的作品もしくは活動を取り上げ、その概要とそれが社会にもたらした意味を述べてください。
- (2) あなたが高校在学中に取り組んだ作品（作曲、演奏、絵画、デッサン、立体作品、イラストレーション、写真、動画等）のデータを作成し、以下の形式で提出してください。複数点も可能です。学校の課題やプロジェクトなどグループで取り組んだ成果も含まれますが、その場合は自身が何を担当したのかを明確にしてください。

■ 形式

課題（1）について

- ・パソコン等で作成のこと：A4用紙（ヨコ書き、30字×40行）1,200字以内
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。また、図表は指定された字数には含みません。
- ・参考文献は文章や図表とは別にしてA4用紙にまとめてください。また、参考文献は指定された字数には含みません。

課題（2）について

- ・作品自体のテーマ・形式・材質等は自由です。作品の形式によって次表に指定された方法で提出してください。

画像データとして提出するもの（絵画、デッサン、立体作品、イラストレーション、写真作品、製品模型、造形作品、モデル、プロトタイプ、建築模型等）	PDF、JPEG、PNGのいずれかのフォーマットでUSBメモリ等に保存したもの ※平面作品（絵画、デッサン、イラストレーション等）の場合は正面から撮影、立体作品（造形作品、モデル、プロトタイプ、建築模型等）の場合は、複数の視点から撮影したものを提出すること。
動画・映像データとして提出するもの（CG、アニメーション、実写、音楽の演奏、パフォーマンス、動く造形作品等）	MOV、MP4、AVI、WMV、M4AのいずれかのフォーマットでUSBメモリ等に保存したもの ※演奏提出動画・映像は独奏のみとする。基本、楽器を含めた全身を正面から撮影、鍵盤楽器の場合は手鍵盤や足鍵盤・ペダルが見えるように斜め後ろから撮影。伴奏は入れても入れなくてもよいが、入れる場合の伴奏者は演奏者と同一画面内に撮影すること、トリミング加工以外の編集は不可（変奏曲の曲間のトリミングも不可）
音声データとして提出するもの（作曲）	MP3、AACのいずれかのフォーマットでUSBメモリ等に保存したもの

- ・作品の資料（氏名、タイトル、コンセプト、サイズ、技法、材料等に関する説明文。音楽演奏の場合は、作曲者と曲目。作曲ならば、楽譜あるいはこれに類するもの等）をPDFとしてUSBメモリに保存してください。
- ・提出するUSBメモリ等には、氏名と作品カテゴリー（作曲、絵画、イラストレーション等）を記載した紙を添付してください。
- ・提出されたメディア等は返却いたしません。また、提出後のメディア等の差し替えも認めません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

課題（1）について

- ・課題の内容を理解する力があるか。
- ・自分の考えを展開する力があるか。
- ・アイデアをまとめて整理する力があるか。
- ・自分の考えを伝えるために、丁寧に文章を作成する力があるか。

課題（2）について

- ・作品にふさわしいタイトルがつけられているか。
- ・作品にコンセプトが反映されているか。
- ・色や形や音、またそれらの組み合わせ等に創意がみられるか。
- ・材料を工夫して制作されているか。
- ・（特に演奏の場合）表現しようとする意図が感じられるか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

課題（2）を選んだ受験生は、発表では、作品あるいはその写真等を提示しつつ、タイトル、コンセプト、技法や材料等の創意工夫について説明してください。なお、選考会場での実演（演奏、パフォーマンス等）はお控えください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使える機器等について		
①模造紙	×	
②プロジェクター	×	
③パソコン	○	パソコンを持参し、面接者にパソコンの画面を見せながら発表してください。 万一の場合に備え、発表資料を印刷したものを持参してください。
④配付資料	○	3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	○	ボード、パネル、制作資料（写真ファイル）、スケッチブック等。 持参可能であれば第一次選考において画像データ等で提出した造形作品の実物一点以上。

課題

下記の (1) ～ (4) から 1 つを選び、その現状と課題について説明し、それに対するあなたの考えを述べてください。
なお、記述の中に具体例を含めてください。

- (1) 保幼小連携
- (2) 地域子育て支援
- (3) 障がい児支援
- (4) 国際理解教育

形式

- ・課題については、選択した課題番号及びタイトルを必ずつけてください。
- ・手書きのみ：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,600 字程度
- ・図表等、執筆上参照した参考文献に関する情報（著者・書名等、インターネットを利用して調べた情報はその URL）については、別紙（A4 用紙）に記入してください。なお、別紙記載分は指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題の内容を正しく受け止めて記載し、文章に一貫性があるか。
- ・課題に対して調べた内容が、あなたの考えや意見の根拠となって記載されているか。
- ・調べた内容を引用するだけでなく、あなた自身の考察が明確に記載されているか。
- ・文章の構成が論理的で分かりやすく、正しい文章の書き方になっているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

- ・課題発表にあたっては、上記課題の内容をわかりやすく説明してください。その際、配付資料 2 部は必ず用意してください。またフリップボードやスケッチブック等の使用も可とします。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使える機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター	×	
③パソコン	×	
④配付資料	必	A4 用紙、枚数・様式自由、2 部
⑤その他	○	フリップボード・スケッチブック等

■ 課題

まず、保健体育の教科書の中から、あなたが最も興味をもったテーマを1つ選びます。次に、教科書以外の信頼できる資料（書籍、新聞、官公庁・協会・連盟公開資料等）を調べたり、自ら調査・実験をしたりするなどして、あなたが考える具体的な解決策や改善策を述べてください。

■ 形式

- 手書きのみ：A4 原稿用紙（タテ置き、ヨコ書き、20 字× 20 行）1,600 字程度
- 図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数には含みません。
- 引用・参考文献は文章や図表とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、引用・参考文献は指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題文をしっかりと読み、要求されていることに的確に答えられているか。
- 資料（引用・参考文献や調査・実験結果）をもとに、論理的に記述されているか。
- 調べた結果とあなたの見解・考察が区別される形で記述されているか。
- 資料や引用・参考文献の出典が明確にされているか。
- 誤字・脱字がなく、ていねいで適切な文章表現がなされているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

課題発表にあたっては、あなたが提出した上記の課題の内容をさらにわかりやすく説明してください。その際、図表や資料を記入したパネル・模造紙・配付資料（2 名分）などを準備して発表してください。それに対して質疑応答を行います。なお、メモを持参しての発表は可能です。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	B1 判程度、枚数自由
②プロジェクター	×	
③パソコン	×	
④配付資料	○	2 部
⑤その他	○	パネルなど持参可。

※ 「①」、「④」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①」と「④」と「⑤」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) 理想的なアスリートを目指すときに重要と思われるポイントについて、あなたが現在行っているスポーツと関連づけて記述してください。
- (2) スポーツの優秀なコーチを目指すときに重要と思われるポイントについて、あなたが現在行っているスポーツと関連づけて記述してください。
- (3) スポーツの優秀なトレーナーを目指すときに重要と思われるポイントについて、あなたが現在行っているスポーツと関連づけて記述してください。

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,200 字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,200 字程度
- ・図表を用いる場合：文書とは別に A4 用紙 1 枚以内

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・今後あなたが進みたい方向性を、明確にとらえられているか。
- ・現在あなたが行っているスポーツと、十分に関連づけられているか。
- ・調べた結果だけでなく、あなたの意見も記述されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 7 分程度とし、それに対する質疑応答を 3 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 15 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

上記の課題の中であなたが選んだものを説明できるように準備してください。その内容をわかりやすく効果的に説明するために、下記のもの（いずれか 1 つ）を準備して発表してください。

- ① パネル、模造紙（2 枚以内）。
- ② A4 用紙で 10 枚以内にまとめた図表等の補助資料。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について		
①模造紙	○	2 枚以内
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料	○	A4 用紙 10 枚以内、2 部
⑤その他	○	パネル

※ 「①」、「④」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) 柔道・剣道の平素の稽古にあたって大切な武道精神とは、具体的にはどのような心構えや態度を指すのでしょうか。あなたの体験や見聞を踏まえた意見をまとめてください。
 - (2) 武道の発展を図るためには、優秀な指導者が必要です。そこで、学校や地域社会における武道（柔道・剣道）の指導者として、大切な心構えや、指導上の留意点について、あなたの考えを具体的に述べてください。
 - (3) 地域社会で活動している町道場やスポーツ少年団などを訪問し、指導方法、稽古内容、参加者などを調べ、学校の運動部活動と比較して気づいた点をまとめてください（団体名・所在地を必ず記入すること）。
- 本課題における武道とは、柔道・剣道を指しています。課題ではあなたの「柔道、もしくは剣道に関する実体験を踏まえた知識や意見」を述べてください。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,200 字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,200 字程度
- ・文章の冒頭に、なぜその課題を選んだのか理由を明記してください。
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・文章の冒頭に課題を選択した理由が明記されているか。
- ・調べた結果だけでなく、あなたの意見や考えも記述されているか。
- ・誤字・脱字がなく、ていねいで適切な文章表現がなされているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

- ・上記課題について、さらに詳しく発表してください。
- ・発表資料（パネルや模造紙あるいは配付資料等）を準備してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について		
①模造紙	○	1～3枚程度
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料	○	A4用紙3枚程度、2部
⑤その他	○	パネル等

※「①」、「④」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

■ 課題

あなたの住んでいる地域における健康もしくはスポーツに関する政策と具体的な取り組みについて事例を調べたうえで、生涯スポーツをより振興させる方策について、あなたの考えをまとめてください。

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きのみ：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）2,400 字以内、6 枚以内
- 図表などを用いる場合は、文章と別に A4 用紙にまとめ、添付してください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。図表は、手書きで作成しても、パソコンで作成しても構いません。
- 文章や図表の作成に使用した参考文献・資料は、本文とは別の A4 原稿用紙に明記してください。なお、参考文献・資料は、指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題と提出された内容に整合性があるか。
- 健康もしくはスポーツに関する政策と具体的な取り組みが記述されているか。
- 生涯スポーツを振興させる考えが具体的に記述されているか。
- 構成が適切で誤字・脱字がなく、ていねいに記述されているか。
- 参考文献・資料の出典が明確に示されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

上記の課題について口頭発表ができるように準備してください。発表の際には、手元の資料として、第一次選考の際に提出した課題のコピーや発表原稿メモなどを見ても構いません。

＜発表要件＞

- ①口頭での発表です。
- ②補助資料として、課題の内容をわかりやすくするためにまとめたもの（模造紙、配付資料、フリップボード、スケッチブック等）を準備しても構いません。補助資料は回収しませんので、試験終了時に返却します。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について		
①模造紙	○	2～3 枚程度
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料	○	A4 用紙 5 枚程度、2 部
⑤その他	○	フリップボード（スケッチブック等）10 枚程度

体 育 学 部

スポーツ・レジャーマネジメント学科 ●湘南キャンパス

■ 課題

- 下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。
- (1) 祭りや日本の伝統文化を実際に取材、体験して報告書を提出してください。
 - (2) 子どものあそびについて取材し、報告書を提出してください。
 - (3) スポーツやレジャーのイベントを実際に取材、体験して報告書を提出してください。

■ 形式

- 選択した課題番号およびタイトルを必ずつけてください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）6 枚程度
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 30 行）2 枚程度
- 図表を用いて説明する場合は、図表は文章とは別にして、A4 用紙にまとめてください。
- いずれの課題も引用・参考文献を必ず記載してください。
- 引用・参考文献・資料・図表は、指定された枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題の選択理由が明記されているか。
- スポーツ・レジャー・あそび・ゆとりなどの概念を的確に捉えているか。
- 独創的な工夫がなされているか。
- 実際に取材、体験をし、その事実に基づき、あなたの意見や考えが記述されているか。
- 問題を発見しようとし、今後の展望について盛り込まれているか。
- 引用・参考文献・資料の出典が明記されているか。また調べた方法が明記されているか。
- 誤字・脱字がなく、ていねいで適切な文章表現がなされているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

- 口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。
- あなたが選択した課題について、口頭で発表してください。
 - 発表の際に、その内容をわかりやすく説明できるように、模造紙、パネルなどで資料を提示したり、可能であれば実演も行うような工夫をしてください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	○	枚数自由
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料	○	2部
⑤その他	○	パネル等

■ 課題

下記の課題について、①～③について留意しながら、あなたの考えを具体的に述べてください。

「誰もが生き生きと自分らしく暮らせる“健康な社会”の創造に向けて何が重要になるのか」について、「あなたが健康学部健康マネジメント学科で身につけたい力や希望」を含めて考えをまとめてください。

- ①所定の形式に沿うこと
- ②「運動」「栄養」「社会福祉」「メンタルヘルス」「地域」「政策」「生命科学」「情報」のうち複数をキーワードとすること
- ③行政（国・地方自治体）や国際機関が示している健康課題または産業界の動向を、新聞や文献等により調査すること

■ 形式

- ・タイトルを必ずつけてください。
- ・A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,600 字程度（手書きのみ）
- ・別紙（A4 用紙）に、(a) 図表等、(b) 執筆上参照した参考文献に関する情報（著者・著作名、書名等、インターネットを利用して調べた情報はその URL）を記入してください。なお、別紙に記載する (a)、(b) については、指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・提出した課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- ・課題の内容を正しく受けとめて記載し、文章に一貫性があるか。
- ・課題に対して調べた内容が、あなたの考えや意見の根拠となって記載されているか。
- ・調べた内容を引用するだけでなく、あなた自身の考察が明確に記載されているか。
- ・文章の構成が論理的で分かりやすく、正しい文章の書き方になっているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 7 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 8 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について		
①模造紙	○	四六判（788mm × 1091mm）程度、4 枚以内
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料	○	A4 用紙、枚数・様式自由、2 部

■ 課題

毎日、新聞を読んだり、テレビのニュース番組を観たりしていると、現在の日本の社会では、さまざまな出来事が起こり、さまざまな社会問題が生じていることがわかります。そのような出来事や問題の中から、法律に関係のあるテーマを1つ設定し、その詳細について調べてみてください。調査をするにあたってインターネットを利用しても構いませんが、図書館などを利用した新聞・書籍・雑誌などの活字媒体も必ず使用してください。調査することで事実や問題の詳細を知ることができますが、それだけでなく、事実の分析の仕方や問題の解決方法が決して1つではなく、さまざまな見方や考え方があることがわかるはずです。

そうした調査からわかったことを踏まえて、設定したテーマについて、あなたならば、事実をどのように分析し、どのように解決すべきだと考えるのかを、述べてください。

■ 形式

- 文頭には必ずタイトルをつけ、文末には必ず参考文献や資料名を明記してください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）2,500 字～ 3,500 字程度
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、30 字× 35 行）2,500 字～ 3,500 字程度
- 図表を用いて説明する場合は、文章とは別にして、A4 用紙 2 枚以内にまとめてください。
- 参考文献や図表は、指定された字数（2,500 字～ 3,500 字程度）には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題がどのようなことを求めているか適切に理解しているかどうか。
- テーマの設定が適切なものであるかどうか。また、具体的なものであるかどうか。（以下の注意点を参照）
- 事実や問題の詳細を調べているかどうか。また、調べ方が適切であるかどうか。
- 調査からわかったことをあなたの考察の中に取り込んでいるかどうか。また、調査からわかったこととあなた自身の考察とを区別しているかどうか。
- 論理性をもった、正しい文章で書かれているかどうか。

【注意】

課題の内容、形式、第一次選考での主な評価ポイントは、以上のとおりですが、以下の点に注意してください。

- ①新聞記事やニュースからテーマを設定するというのは、例えば、「死刑判決」に関する記事から「死刑は存置するべきか、廃止するべきか」というテーマを設定するとか、「裁判員制度」に関するニュース報道から「裁判員制度の課題は何か、今後どうあるべきか」というテーマを設定するということです。ただ、ここで例に挙げた「死刑は存置するべきか、廃止すべきか」、「裁判員制度の課題は何か、今後どうあるべきか」というテーマは避け、あなた自身でテーマを考えてください。あなたがどのようなテーマを選択するかについても、わたしたちには非常に関心があります。
- ②調査をすれば、事実の分析の仕方や問題の解決方法が決して1つではなく、さまざまな見方や考え方があることがわかるはずです。そのようにさまざまな見方や考え方があることや、その内容については、必ず触れてください。事実の分析の仕方や問題の解決方法にさまざまなものがあることを示したうえで、あなた自身の分析や解決方法を述べることができるかどうかをわたしたちは知りたいのです。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『**口述試験要領**』を参照してください。

- 課題発表に準備するものは次のとおりです。
 - (a) 課題発表の内容をまとめたもの（A4 用紙 1 枚、2 部）
これとは別に、次のものを準備しても構いません。
 - (b) 課題発表に関連する図表（A4 用紙 2 枚以内、2 部）
 - (c) 補助資料（模造紙：1 枚）
- 発表の際は、メモを持参しても構いません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で使用できる機器等について

①模造紙	○	1 枚
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料	必	A4 用紙 1 枚、2 部
⑤その他	○	課題発表に関連する図表：A4 用紙 2 枚以内、2 部

政治経済学部

政治学科

●湘南キャンパス

〔3年次（第5セメスター）以降の授業科目は品川キャンパスで開講〕

課題

政治学科では、政治、行政、国際という3つの分野を横断的に学び、地域、国、世界といったさまざまなレベルで起きている問題に対して解決方法を考えることのできる人材を社会に送り出すことを、目標の1つとしています。

今日の世界ではグローバリゼーションの進展により、国境を越えて市民、企業、団体、地域同士のかかわりが強くなるとともに、政治、経済、社会面でさまざまな変化や問題も生じています。

そのことをふまえて、この課題では、グローバル社会で現在生じている問題のなかから1つをテーマとして選び、その問題の背景を調べるとともに、解決に向けて、国際社会の一員として、市民、地方、国、あるいは国際組織が今後どのような役割を果たしていくべきかについて、あなたの意見を述べてください。

形式

- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）4,000 字程度
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 40 行）4,000 字程度
- 必ずタイトルをつけてください。
- 図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数には含みません。
- 課題作成に使用した書籍、新聞、インターネットサイト等は必ず参考文献として明記し、A4 用紙に記載してください。なお、参考文献は指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題の内容を的確に表現したタイトルがつけられているか。
- テーマとした問題について、それが生じた背景を理解しているか。
- 調査したことが内容にきちんと反映されているか。
- 文章が論理的に構成されていて、わかりやすいか。そのための工夫がなされているか。
- あなたの意見を述べるときに、なぜそのように考えるのかを根拠とともに示しているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

上記の課題について、口頭でわかりやすく説明できるように準備してください。課題発表の際には、単に原稿を読みあげるのではなく、課題を調べたときのデータ、写真を示すなどの工夫をしてください。ただし、示すことのできる資料は紙類のみとします。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		
③パソコン		
④配付資料	○	課題を調べたときのデータ、写真など（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	必	掲示用ポスター：課題を調べたときのデータ、写真など（2枚程度）

■ 課題

新型コロナウイルスの世界的大流行（パンデミック）は、私たちの身近な経済活動にもさまざまな影響を及ぼしました。その中で、あなたがもっとも重要だと思うテーマを選び、以下の点を踏まえながら、あなたの考えをできるだけ具体的に述べてください。テーマは新聞やテレビなどが報じるニュースを参考に、入学後にあなたが経済学科で学びたいと考えている、関心のある事柄から選んでください。

- ①あなたにとってなぜその問題がもっとも重要なのか
- ②その問題の現状（過去からの推移、他国との比較など）
- ③その問題について異なる主張をしている経済学者、エコノミストの内容の比較
- ④上記③を踏まえたうえで、自らの主張を論理的に述べる

なお、①、②については基礎知識について述べている本を最低1冊、③については異なる主張がなされている本を最低2冊精読したうえで、参考文献に加えてください。

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）4,000 字程度
- パソコン等を使用する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 35 行）4,000 字程度
- 図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。また、図表は指定された字数には含みません。
- 課題作成に使用した書籍、雑誌、新聞、インターネットサイトなどは必ず参考文献として明記し、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、参考文献は、指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 調査や情報の収集がなされており、それらがあなたの意見の根拠として示されているか。
- あなたの意見を述べる時、データや他者の意見・主張を基礎としているか。また、自分の意見と他者の意見を区別しているか。
- 課題について、それに対する経済学的な考え方を調べ、その考え方を理解しているか。
- 文章の書き方が論理的で分かりやすいか。また、そのための工夫がなされているか。
- 課題の内容、形式で求められている条件を満たしているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

課題発表は、上記課題について、模造紙、パソコン、プロジェクターは使用せずに、配付資料だけを用いて説明できるように準備してください。課題レポートの内容、発表の仕方、質問への回答などを評価の対象とします。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		
③パソコン		
④配付資料	必	A4 用紙 2 ～ 3 枚程度、2 部

課題

あなたの身の回りにある仕事や将来の仕事、例えば、親や親戚の仕事、あなたのアルバイト先の仕事、あなたが将来就きたい仕事などから1つの「仕事」を選んだうえで、その仕事に関係のある特定の「企業」を1社取りあげ、課題を作成してください。（仕事と企業の選び方は、下記の例1～3を参考にしてください。）

- 例1「仕事」に親や親戚が行っている工務店の経営を選び、「企業」に積水ハウスを取りあげる。
例2「仕事」にアルバイト先であるコンビニエンスストアでの接客を選び、「企業」にセブン-イレブンを取りあげる。
例3「仕事」に将来の希望職種であるマーケティング業務を選び、「企業」ファーストリテイリングを取りあげる。

取りあげた企業に関する情報を、できれば直接企業から、さらには新聞・雑誌・書籍・インターネットなどを用いて収集してください。次に、これらの情報を分析して、取りあげた企業にどのような問題や課題が存在するのかを明らかにし、それをどのように捉えて、対応・改善していったらよいかなどの考察を、あなた独自の視点で論述してください。

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）4,000 字程度、12 枚以内
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、35 字× 35 行）4,000 字程度、4 枚以内
- 図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 情報の入手元に関しては、必ず参考文献として明記してください。参考文献は文章や図表とは別にして、A4 用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 課題の内容、形式で求められている条件を満たしているか。
- 情報の収集がなされており、その根拠が示されているか。
- 収集された情報を基にして、あなたの意見が述べられているか。
- 書き方が論理的でわかりやすいか。またそのための工夫がなされているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	○	大学で準備します。持参しても構いません。 大学のパソコンを使用する場合は、Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 パソコンを持参する場合は、HDMI 端子のパソコンを持参してください。その他の端子のパソコンの場合は、HDMI 端子への変換ケーブル等を必ず持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	3部（面接者2部、受験生1部）

※「②・③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。
なお、メモを持参しての発表は認めません。

■ 課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

私たちの社会が直面する重要な地球規模の課題を解決するためには、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals - SDGs）における 17 の目標の複数の目標にまたがる取り組みをしばしば必要とします。今日の重要な課題として挙げられる以下のテーマの中から 1 つを選び、SDGs の複数の目標と関連させながら、その課題の解決に向けてあなたの身のまわりや社会で行われてきた取り組みを紹介してください。また、その問題点（改善すべき点）を具体的に述べ、もしあなたならどのように取り組むかについて、説明してください。

テーマ：アイデンティティと多文化共生、人権とマイノリティ、紛争と平和、気候変動（または生物多様性）と環境破壊、貧困と格差、ジェンダーと平等

■ 形式

- ・手書きのみ：A4 レポート用紙または A4 原稿用紙（タテ書き、ヨコ書きは問いません）に、日本語（1,600 字以上）または英語（800 ワード以上）で作成してください。
- ・読みやすいいねいな字で書くことに努めてください。
- ・以下は、指定された字数には含みません。
- ①課題には必ず表題（タイトル）をつけてください。副題を加えても構いません。
- ②引用したり参考にした文献やインターネットのサイトがあれば、必ず出典を（詳しくわかりやすく）明記してください。なお、参考文献等は指定された字数には含みません。
- ③図や表、フローチャートなどを添えても構いません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・SDGs の目標を理解したうえで、選んだ取り組みについて具体的に分かりやすく説明されているか。
- ・問題を改善するための取り組みについて、あなた自身の考察が反映されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表（英語でも可）は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-9『口述試験要領』を参照してください。

- ・原稿やメモを持ち込むことは認めますが、原稿をそのまま読むことは避けてください。あなたのコミュニケーション能力をアピールできるように努めて、あなた自身の言葉で語ってください。
- ・発表用の説明資料（課題について見やすくわかりやすく整理したもの）を紙媒体（サイズは A3 に限る）あるいは PPT 等で作成し、発表してください。PPT 等のデジタル形式の資料を使用する場合は、資料を必ず USB に入れて持参してください。
- ・紙媒体の資料を使う発表は、会場の黒板等に資料を掲示してください。PPT などのデジタル形式の資料を使う発表は、会場のパソコンとプロジェクターを使用してください。
- ・ハンドアウト（配付資料）を 3 部準備し、面接者等に渡してください。
- ・面接試験は、高校で打ち込んでいることや本学科への志望動機などについて英語を交えて行います。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター	○	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を 3 部持参してください。
④配付資料	必	3 部
⑤その他	○	A3 サイズのスケッチブックまたは A3 サイズの用紙

※ 「②・③」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。また「④」も準備してください。

■ 課題

下記の2つの課題から1つを選び、所定の形式にそって作成したものを提出してください。

- (1) 2024年11月までの年間累計訪日外客数は3,337万人超と過去最多を記録しました。新型コロナ禍の収束と円安やその他の影響により、訪日外国人旅行客が急増しています。一方、政府は2023年3月に第4次観光立国推進基本計画を策定し、「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」の3つの柱を示すとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標を掲げています。この基本計画で示された3つの柱について、①それぞれの意味を説明したうえで、②「地方誘客促進」を実現するための具体的な方法について、あなたの考えを述べてください。
- (2) 近年、IoT（モノのインターネット）、VR（仮想現実）、AI（人工知能）などのデジタル技術が急速に発展しており、観光分野でも「観光DX（デジタルトランスフォーメーション）」として各地で導入が進められています。観光DXとは、デジタル技術を観光に活用することで、観光客のニーズをより正確に把握する、観光地での利便性を向上させる、地域の新たな価値を創出する、などの課題を解決するための経営改革やマーケティング活動を指します。①日本国内で実際に観光DXに取り組んでいる地域の中から特に興味深いと思った事例を1つ選択し、デジタルをどう活用しているのか具体的に説明するとともに、②その地域における観光DXの取り組みの効果と課題について、あなたの意見を述べてください。

■ 形式

- 適切なタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）5 枚程度
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、1 枚あたりの文字数は自由）2,000 字程度
- 課題文章の最後に、執筆上参照した参考文献に関する情報（著者・訳者名、書名等）を、必ず明記してください。インターネットを利用して調べた情報については、URL を明記してください。なお、参考文献等は指定された字数・枚数には含みません。
- 図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 文章に一貫性があるか。
- 事実や正確なデータに基づいているか。
- 調べた結果だけでなく、あなた自身の考えが明確に記述されているか。
- 課題に対し、的確に回答しているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は12分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を8分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	四六判（788mm × 1091mm）
②プロジェクター	○	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2019、2021 で作成したファイルを USB メモリ等に保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料（A4 用紙）を 3 部持参してください。
④配付資料	×	

課題

SDGs ※を実現するために解決すべき問題を1つあげ、情報通信技術を利用してその解決を試みるとしたら、あなたはどのような方法で解決しますか？あなたが考えるSDGsを実現するために解決すべき問題と、情報通信技術を用いた解決方法につき考えをまとめてください。なお、説明においては、以下の項目を含めてください。

- ・動機：なぜその問題を選択したか。
- ・課題：解決するためにはどのような課題を解決しなければならないか。
- ・解決策：どのような情報通信技術を用いて課題を解決するのか。
- ・評価：選択した問題が解決策によってどこまで達成できると予想するか。
- ・考察：検討においてどのような点に苦労したか、またそれを解決するためにどのような工夫をしたか。

※我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000101402.pdf>

形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4レポート用紙、本文3,000字程度、3枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙、本文3,000字程度、3枚程度
- ・図表を用いて説明する場合、図表は本文の中に挿入してください。なお、図表は指定された枚数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・提出した課題の内容を的確に表現したタイトルになっているか。
- ・問題を選択した理由が明確に記述されているか。
- ・問題点に対する解決策があなたの意見や考えで論理的に記述されているか。
- ・評価において、どこまで達成できると考えたのかを評価の指標を明記して達成度が示されているか。
- ・苦労した点、解決のための工夫点など、課題を実施した際の考察が明記されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	必	大学で準備します。
		Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。
④配付資料	×	万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
⑤その他	×	

課題

下記の 2 つの課題 (1)、(2) から 1 つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

(1) 〈探究課題タイプ〉

以下に示す 3 つの観点のいずれかを選び、自分が興味を感じた数学に関連する探究のテーマを考えてください：

- (A) 高校までに学ぶ数学と大学で学ぶ数学とのつながり。
- (B) 高校までに学んだ数学の公式・定理の証明と歴史的考察。
- (C) 指数関数・対数関数はどのように実生活に関連しているかなど、高校までに学んだ数学と実社会との関連。

例：(A) を参考に考えたテーマ「高校と大学の微分積分学の違い」

(B) を参考に考えたテーマ「放物線と直線で囲まれた面積の導出法とその歴史的考察」、「円の面積の公式の歴史と公式の証明や導出法」

(C) を参考に考えたテーマ「複素数は実社会でどのように活用されているか」

次に、あなたが決めた探究のテーマについて調査・考察し、以下の①～③を含めてレポートにまとめてください。さらに、④についてもレポートに記述してください：

- ①なぜそのテーマに興味を持ったか
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についてのあなたの考察・感想
- ④数学科で身につけたい力や学びたい内容

(2) 〈探究活動報告タイプ〉

高等学校での総合的な探究の時間や SSH（スーパーサイエンスハイスクール）での研究、課外活動等で取り組んだ数学に関する研究について、以下の 3 点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どんな方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4 用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）4 枚程度、パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き）1,600 字程度としてください。
- 図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- 調べた参考文献の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解して（数学的な内容について自ら例を確認するなど考察し）あなたの言葉で記述しているか。
- 記述内容に明らかな間違いはないか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 10 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 5 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。（入力端子は VGA または HDMI）
③パソコン		VGA 端子または HDMI 端子で出力のできるパソコンまたはコネクタを持参してください。
④配付資料	必	発表用スライドを印刷した資料を 2 部持参してください。なお、印刷枚数が多くなる場合には、スライドを 4 枚綴りで 1 ページに印刷してまとめるなどしてください。

■ 課題

数学も情報も学べ、AIに必須の数理的センスと情報の解析・応用の力を身につけることができるのが情報数理学科です。大学で学ぶ数学や情報は高校の学びの先にあります。本学科では、代数、幾何、解析に代表される純粋数学のみならず、確率・統計や離散数学などの応用数学、コンピュータサイエンスがITの力を身につけながら学べます。

さらに、シミュレーション、人工知能、データベースなど、数理的思考からAIやデータサイエンス等のアプローチを学びます。

下記の2つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) 数学B、数学C、数学Ⅲの中から、興味を持った題材を選び、その内容を説明し、どんなところになぜ興味を持ったかを述べてください。例えば数学Ⅲで学ぶ微積分や、極限について考える等があります。
- (2) これまでにさまざまな数学を学んだことと思います。その中で興味を持った問題を選び、その問題を解く手順（アルゴリズムなど）をプログラムなどを用いて示してください。また、なぜその問題を選んだのか、どこに興味を持ったかについても述べてください。プログラムの場合、どのようなプログラム言語を用いても構いません。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4レポート用紙4枚以内。文字は読みやすい大きさと書いてください。
- ・Word等の文書作成ソフトを使用する場合：A4用紙（上下左右2.5cm程度の余白、文字の大きさは12ポイント程度）3枚以内
- ・内容を簡潔に示すタイトルをつけてください。
- ・数式、図・表等を文中に入れる場合でも、指定された枚数でまとめてください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・提出した課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- ・なぜその問題を選んだかの理由が明確に述べられているか。
- ・課題の内容がきちんとした順序でわかりやすく述べられているか。
- ・述べたいことが正しい日本語で正確に表現されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

課題（1）では数式、表などを中心に、課題（2）ではアルゴリズム、プログラム等を中心に用いて、課題の具体的な内容をわかりやすく発表してください。発表は、模造紙、板書、PowerPointのいずれかを用いて行ってください。配付資料がある場合は、自分用を含めて3部準備してください。

■ 第二次選考に関する注意事項

課題発表は、模造紙、板書、PowerPointのいずれの発表形式を選んでも評価には影響しません。また、発表の途中であっても適宜内容に関して質問する場合があります。準備した原稿を見ることなく、面接者等に向かって、あなたの言葉でわかりやすく説明してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	○	2枚以内
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	○	大学で準備します。
		Windows版のPowerPoint2019以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	使用する場合は3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	○	板書

※「①」、「②・③」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「④」は必要に応じて選択した発表形式の補助資料として用いてください。「④」のみによる発表はできません。

■ 課題

下記の4つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) 著名な物理学者の研究で、あなたが関心を持ったものを1つ選び、その研究内容を数式及び図を用いて説明し、その研究が世の中へ与えた影響についてまとめてください。
- (2) あなたが今まで体験したことで、物理法則とのかかわりが見い出せる現象を1つ選び、その現象と物理法則とのかかわりについて数式及び図を用いて説明してください。
- (3) あなたが興味のある物理現象について実験を行い（過去に行った実験でも良い）、「実験目的」、「実験で扱う物理法則」、「実験方法」、「実験結果及び考察」、「結論」の項目にまとめてください。
- (4) 宇宙、素粒子、物質（原子・分子）、レーザー、プラズマ、生命現象の物理の中から1つ選び、それに関連する事柄（現象、仕組み、応用例など）を調査し、数式及び図を用いて説明してください。

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4 レポート用紙（ヨコ書き、1枚あたりの字数は自由）5枚以内
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、1枚あたりの字数は自由）4枚以内
- 図表はあなたが作成したものを用い、文章とは別にA4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献は文章や図表とは別にA4 用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。参考文献には、著者、書名、出版社、出版年、ページを明記してください。また、インターネット等で調べたものについては、著者及びサイト名とそのURLを明記してください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 提出した課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- 調べた課題の目的・目標・動機（なぜ調べたのか）が明記されているか。
- 調べた方法が明記され、自分の意見も明記されているか。
- わかりやすい文章で明記され、数式や図表を活用した説明ができているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

課題発表は模造紙もしくはパソコンで行ってください。発表用のメモなどを見ないで円滑に発表できるよう、十分な練習を行うなどの準備をしてください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	5枚以内で準備してください。
②プロジェクター	○	大学で準備します。
③パソコン		HDMI または VGA 端子が付いたパソコンを持参してください。その他の端子が付いたパソコンを持参する場合は、HDMI または VGA 端子への変換ケーブルを持参してください。
		万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
④配付資料	○	使用する場合は3部（面接者2部、受験生1部）

理 学 部 化学科

●湘南キャンパス

■ 課題

下記の2つの課題から1つを選び、その内容について調べてください。調べた内容は所定の形式に沿ってまとめ、提出してください。なお、調べるにあたっては教科書以外の書籍や資料、インターネットから得られる情報なども積極的に活用してください。

- (1) 化学の法則や原理には人名のついたものがあります。下記の中から2つを選び、それらの内容を具体的な例（物質や反応）を挙げて説明してください。
アボガドロの法則、ファラデーの法則、ヘスの法則、ヘンリーの法則、ボイル・シャルルの法則、ルシャトリエの原理
- (2) 教科書に載っている金属元素の中で1種類の金属元素を選んで、その単体の①製造方法（製錬、電解精錬、融解塩電解）、②特徴と用途、③単体またはイオンの主な反応について説明してください。

■ 形式

- 必ず表紙（タイトル）をつけてください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）2,000 字以内
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、35 字× 35 行）2,000 字以内
- 図・表は本文中に入れてください。なお、図・表は指定された字数に含みません。
- 使用した文献や資料は、本文の最後に参考文献としてまとめて記述してください。
なお、参考文献は、指定された字数に含みません。
参考文献は、著者名、書名（または雑誌名）、ページ、発行年、発行所を明記してください。
インターネット等で調べた場合は、サイト名とその URL を明記してください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 要求されている項目がすべて記述されているか。
- 調べた結果が制限字数内にわかりやすくまとめられているか。
- 教科書以外の資料を参照して作成されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

発表形式は、下記の2つのうちどちらでも構いません。発表の際は、自分で用意してきたメモなどを見ても構いません。

- (a) A4 用紙で作成した資料をテーブルの上で示しながら発表する。
(b) パソコンで資料を提示しながら発表する。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

① 模造紙	×	
② プロジェクター		大学で準備します。
③ パソコン	○	大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④ 配付資料	○	2 部（面接者用）

※ 「②・③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

情報理工学部
情報科学科

●湘南キャンパス

■ 課題

情報科学科では、「人間」をキーワードとして「AI・計算科学・数理科学」「情報計測・可視化」の2つの大きな分野の研究・教育を行っています。10年ほど前から盛んになってきたAI技術は、単なるブームにとどまらず私たちの身の回りのありとあらゆる分野に浸透してきています。また、生体内部のイメージングや地球観測衛星によるリモートセンシングは、これまで人間が知ることのできなかった世界を明らかにしつつあります。当学科のこれらの分野に関連した下記の2つの課題から1つを選んで所定の様式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) AI・計算科学・数理科学
あなたの身の回りにおける人工知能の活用事例を挙げ、その技術の原理を詳しく述べてください。どのようなアイデアが現在の技術革新をもたらしましたか。また、今後どのようなことが可能になるかについて人間の生活との関わり方の観点からあなたの考えを述べてください。
- (2) 情報計測・可視化技術
医療のための生体イメージングや地球観測のためのリモートセンシングなどの情報計測・可視化技術をひとつ取り上げ、その技術の意義や原理を詳しく述べてください。また、その技術が健康・安心・安全などの面で人間の生活にどのようなメリットをもたらしてきたか、今後どのような発展があるかについて、あなたの考えを述べてください。

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 課題(1)・(2)いずれを選んだ場合も、その課題や技術を選んだ理由を述べるとともに、それらに関連して情報科学科で学びたいことを述べてください。
- 手書きの場合：A4用紙（ヨコ書き、20字×20行）5枚程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き）2,000字程度
- 図表を用いる場合は、本文とは別にして、A4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- 調査にとどまらず、あなたの考えに基づく提案があるか。
- 調べた参考文献の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉で記述しているか。
- 記述内容に明らかな間違いはないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

課題発表では、メモを持参しての発表は認められません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		大学で準備します。（入力端子：HDMI）
③パソコン	必	大学で準備するパソコンを使用する場合は、Windows 版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。持参のパソコンを使って発表しても構いません。パソコンを持参する場合は、HDMI出力可能なものに限ります。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	×	

課題

現在では、直接人の目に触れない所でも、コンピュータを利用した装置やシステム（例えば、各種家電製品、自動車の運転補助システムや鉄道・航空機のチケット予約システムなど）が実現されており、以前に比較して非常に便利かつ安心・安全な生活を営む事ができるようになっています。一方で、コンピュータが十分に活用されていない分野も残されているのも事実です。このような分野の事例を1つ取り上げ、以下の点についてまとめてください。

①取り上げた分野にコンピュータが十分に活用されていない理由

②上記①の問題点を解決するためのあなたの考え

③上記②を実現するために情報理工学部コンピュータ応用工学科で学ぶ必要のある内容

形式

- ・パソコン等で作成（手書きは不可）：A4 用紙（横書き、合計 2,400 文字程度、2 ～ 3 枚程度）
- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・図表を用いて説明する場合は、文章の中にわかりやすい形で挿入してください。
- ・参考文献等の外部参照からの引き写しは必要最低限とし、引き写した文章部分は下線を引き、本文の最後に参考文献の情報（書籍名、URL 等）を提示してください。なお、引き写し部分は指定の文字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題の内容に合ったタイトルがつけられているか。
- ・図・表をうまく用いているか。
- ・調査した内容を記述しているだけでなく、あなた自身の考え・アイディアが具体的に提示されているか。
- ・記述内容に明らかな間違いや事実誤認がないか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 8 分程度とし、それに対する質疑応答を 7 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について		
①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。（入力端子は HDMI に対応可）
③パソコン		大学で準備するパソコン（Windows）または持参のパソコンを使って発表していただきます。いずれの場合も、PowerPoint 2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。持参できるパソコンはプロジェクタ出力の為、HDMI 出力可能なものに限りです。 万一の場合に備え、PowerPoint のスライド（コンテンツ）を印刷した資料を 1 部持参してください。
④配付資料	×	

■ 課題

コンピュータグラフィックス（CG）やバーチャルリアリティー（VR）、ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）など、情報メディア技術やそれを基盤としたサービスは、我々の日常生活に深く浸透しており、私たちの生活はとても便利になりました。その一方で、これまでにはなかった新たな問題も生じています。

情報メディア技術に関する以下の課題について、所定の形式にそって作成したものを提出してください。

21 世紀になってから誕生した情報メディアに関係する技術や製品、サービスを調査してみましょう。そのなかで、あなたが最も興味を持ったこと 1 つについて、以下の点を含めてまとめてください。

①あなたはなぜそのことに興味を持ったのか
②現状の問題点とその解決のためのあなたの考え
③情報理工学部情報メディア学科で身につけたい力や学びたい内容

■ 形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- パソコン等で作成：A4 用紙（ヨコ書き、35 字× 35 行、2,400 字程度、2 枚程度）
- 図表を用いる場合は、本文の中の適切な場所に挿入してください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- 調査した内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉で記述しているか。
- 記述内容に明らかな間違いはないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

課題発表では、発表用原稿やメモを持参しての発表は認められません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について		
①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。（入力端子：HDMI）
③パソコン		HDMI 端子のあるパソコンを持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を 3 部持参してください。
④配付資料	×	

課題

建築学では、文系・理系の広範な知識を総合的に思考し判断することが求められます。そのため、今あなたが得意とする科目や興味のある事項は、そのまま本学科での学びにつながります。

建築や都市について、下記の5つの課題(1)～(5)から最も興味のあるテーマを1つ選び、図書館やインターネットなどで情報を集めたうえで、具体的な事例を取りあげてあなたの感想や考察を、写真や図版などを用いて、わかりやすくプレゼンテーション(表現)してください。

- (1) あなたのまちの生活環境を向上させるためのまちづくりの工夫について、具体的なデータや地域活動の事例を挙げ、それらの課題を分析・考察してください。
- (2) 住んでいる地域にある歴史的建築物(社寺・民家・近代建築)などを1つ選び、地域性や時代性を自らその姿をスケッチして考察してください。
- (3) 興味のある日本の建築家を選び、その建築作品のデザインの魅力を考察してください。
- (4) 省エネルギー・省資源の観点から、家庭内のエネルギー(電気・ガス)や水道の使い方の見直しが求められています。あなたの家におけるエネルギー(電気・ガス)や水道の使用の現状を説明し、軽減が必要な場合は軽減策を提案してください。なお、軽減策の提案の際は、軽減策を実施する前後における電力使用量や上水使用量の計量値を比較したり、各社から提供されている削減率を使ってシミュレーション計算したりするなどの試行により、どのような軽減策が最も効果的か分析してください。
- (5) 住宅の構法としては、木造、軽量鉄骨造、鉄筋コンクリート造が主流です。これらの構法の特徴をそれぞれ述べなさい。そのうえであなたが住んでいる家がどの構法かを調べ、同じ間取りで別の構法による戸建住宅を設計するならば建築構造の観点から柱・梁・壁の配置や寸法を現状からどう変更したいか、構法を1つ選んで図面と写真を用いて説明してください。

形式

- ・手書きの場合：A4レポート用紙(1枚あたりの字数は自由)5枚以内
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、1枚あたりの字数は自由)5枚以内
- ・写真や図版を用いて説明する場合は、文章とは別にして、A4用紙にまとめてください。なお、写真や図版は、指定された枚数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・テーマの内容を正しく理解して調べ、回答しているか。
- ・テーマに対するあなたの考え方や感想などが記述されているか。
- ・プレゼンテーション(表現)が理解しやすいように組み立てられているか。
- ・参考文献や参考URLが明記されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は5分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を15分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

上記課題の中であなたが選んだものを、下記の要領で説明できるように準備してください。

- ・A2判(模造紙・ケント紙などの薄い紙、タテ使い)5枚以内に、絵・写真・図版などを用いて、わかりやすく発表してください。
- ・発表用原稿の持ち込みを認めます(暗記の必要はありません)。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙	○	A2判タテ使い5枚以内
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料		
⑤その他	○	ケント紙などの薄い紙。A2判タテ使い5枚以内。

※「①」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

(1)〈探求課題タイプ〉

土木工学は、道路・鉄道・港湾・河川・上下水道・通信設備など、文明社会を支えるインフラの構築と維持・管理、地震・台風・洪水など自然災害に対する安全対策や、水質・土壌汚染、騒音・振動、地盤沈下や廃棄物などの環境対策、さらには、まちづくり(都市、交通、公園など)や景観も主要なテーマとなります。

あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ設定し、以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。なお、提出する課題レポートには、タイトルをつけてください。必要であれば、図や表を添付してください(指定された枚数には含みません)。

- ①そのテーマに関心を寄せるようになった理由
- ②調べたことで得られた結果
- ③その結果に対するあなた自身の意見
- ④そのテーマを深く理解するために用いた参考文献(書籍やその他の資料)

(2)〈探求活動報告タイプ〉

高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の3点が明らかになるようにレポートを作成してください。なお、提出する課題レポートには、タイトルをつけてください。必要であれば、図や表を添付してください(指定された枚数には含みません)。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どのような方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか

形式

- ・手書きのみ：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)4枚程度
- ・選択した課題番号を記載し、必ずタイトルをつけてください。
- ・図表を用いて説明する場合は、図表は文章とは別にして、A4用紙にまとめてください。また、図表等は参考文献のコピーを用いても構いません。なお、図表は指定された枚数には含みません。
- ・調査した資料(参考文献)の全てを最後に明記してください。なお、参考文献は指定された枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・選定した課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- ・対象を絞り、課題に対する具体的調査結果が示されているか。
- ・調べた結果に対するあなたの意見が記述されているか。
- ・調査資料の引用先(参考文献等)が明記されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- ・課題発表は、パワーポイントに課題の内容をまとめたものを準備して、わかりやすく説明できるように工夫してください。
- ・手元の資料として、出願時に提出した課題のコピーやメモなどを見ても構いません。また、資料を配付する場合は、2部を面接者等に提出してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で使用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
④配付資料	○	3部(面接者2部、受験生1部)

※「②・③」の発表形式で準備してください。なお、「④」は必要に応じて選択した発表形式の補助資料として用いてください。「④」のみによる発表はできません。

■ 課題

工学部・航空宇宙学科・航空宇宙学専攻に入学後にあなたが学びたいことについて、下記の2つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) 航空宇宙学専攻が主催する高校生対象のワークショップ^(*)に参加し、学んだことを踏まえ、入学後に学びたいことについてまとめてください。
- (2) あなたが今まで関心を持って挑戦的に取り組んできたことを踏まえ、入学後に学びたいことについてまとめてください。

*ワークショップは、2025年7月20日(日)に開催します。
ワークショップへのエントリーは、2025年6月1日(日)から7月17日(木)まで受け付けます。
なお、ワークショップにエントリーした人で、やむを得ず参加できなかった場合でも、(2)での出願は可能です。
詳細については、東海大学工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻のホームページをご確認ください。

■ 形式

- ・手書きまたはパソコン等を使った印刷で課題を作成してください。
- ・A4用紙（縦方向、ヨコ書き、1枚あたりの文字数は自由）表紙1枚を含めて6枚程度。
- ・表紙には、課題番号、タイトル、日付、学校名、氏名を記載してください。
- ・図、表、写真、参考文献は、指定された枚数に含みます。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・入学後に学びたいことが明記されているか。
- ・(1)の場合：ワークショップの内容が明記されているか。
- ・(2)の場合：どのようなことに関心を持ち挑戦的な取り組みをしてきたかについて明記されているか。
- ・わかりやすく論理的に記述されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は7分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を13分程度行います。
口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について		
①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。
③パソコン		HDMI端子のケーブルが接続可能なノートパソコンを持参してください。万一の場合に備え、PowerPoint、Keynote、PDFなどの発表スライドのファイルをUSBメモリに保存して持参してください。さらに、発表スライドを印刷した資料を2部持参してください。
④配付資料	×	

■ 課題

航空操縦学専攻では日々進化する航空技術に対応し得る基礎力と柔軟性を持ち、人格・技術に優れ、将来の航空界をリードできるパイロットを養成することを目的としています。

選考に向けて、下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

小学3年生～6年生を対象とした航空教室の講師として、航空機や運航についてわかり易く解説するために実施するクイズ問題案を作成してください。

ただし、「①航空の歴史、②航空機に作用する4つの力、③雲と霧」についてそれぞれ1問ずつ、合計3問とします。さらに、自身の作成したクイズ問題の模範解答と答え合わせ後に行う問題解説案を作成し、出題及び解説の意図を説明してください。

参考資料：PHAK: Pilot's Handbook of Aeronautical Knowledge

https://www.faa.gov/regulations_policies/handbooks_manuals/aviation/phak

作成にあたり、①については参考資料：PHAKのChapter 1「Introduction To Flying」の1-2～1-4まで、②についてはChapter 5「Aerodynamics of Flight」の5-1～5-8まで、③についてはChapter 12「Weather Theory」の12-12～12-17までを精読したうえで参考文献に加えてください。また、上記の参考資料以外を参考にした場合はそれらの出典も明記してください。

■ 形式

- 日本語で作成してください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）2,000字程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き）2,000字程度
- 図表を用いる場合、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された文字数には含みません。
- 参考文献は文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された文字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 航空に対する興味・関心を持っているか。
- 参考資料の内容を理解し、わかりやすいクイズ問題及び解説となっているか。
- 調べた結果だけでなく、あなたの意見や考えも記述されているか。
- 提出した課題の文章に文法的な誤りや誤字・脱字はないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、①～③に関するクイズのうち、あなたが選択したクイズ1問を英語で実演し、小学生向けに英語で解説してください。「英語によるクイズ実演と解説発表（以下、「プレゼンテーション」という。）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。プレゼンテーションは5分程度とし、これに対する英語による質疑応答を10分程度及び日本語による面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

プレゼンテーションを行う際には、英語で原稿を作り、発音も含めて発表の練習を重ねたうえで、原稿を見ずに発表してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使える機器等について

①模造紙	○	四六判（788mm×1091mm）、2枚程度
②プロジェクター	○	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	A4用紙4部（面接者3部、受験生1部）

※「①」、「②・③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①～④」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つ選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

(1) 〈探求課題タイプ〉

機械工学科は、もの(機械)づくりの学科で、そのための科目を複数用意してあります。この課題は、そのファーストステップとなることを期待しています。

次の要求を満たすロボットまたは車両(以下、ロボットと呼ぶ)を設計し、以下の内容を含むレポートを作成してください。

要求項目:「このロボットは、停止している状態からスイッチを入れると動き出し、約1m進んだところで停止する。モーター、電池など、何を使ってもよいが、コンピュータ制御は使わずに、なるべく簡単な機構でこのロボットを実現したい。また、ロボットが何かにぶつかって止まるとかではなく、このロボットのみで要求を満足するようにしてください。」

レポートに含める内容:

- ①設計図(手書きの計画図でも可)
- ②設計のセールスポイント(安価、独特、シンプル、奇抜、確実、カッコいいなど)
- ③約1m進んだことをどのような方法で検出し、ロボットを停止させるか。
※③については、概念図(ポンチ絵)を添付して説明してください。
- ④設計したロボットに+αの機構を加えるとしたらどんな機構を加えたいか。

(2) 〈探求活動報告タイプ〉

高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どんな方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか
- ④得られた結果についてのあなたの考察

■ 形式

- ・手書きの場合:A4レポート用紙(1枚当たりの文字数やページ数は自由)
- ・パソコン等で作成する場合:A4用紙(1枚当たりの文字数やページ数は自由)
- ・図は文章とは別にA4用紙(枚数は自由)にまとめて添付してください。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・指定された形式になっているか。
- ・的確なタイトルがつけられているか。
- ・あなたの考えやアイデアが十分に検討されており、図表などを用いてわかりやすく記述しているか。
- ・探求課題タイプについては、どれだけ深く考えているかが重要で、設計したロボットが複数あっても、また複数のアイデアから最終的な案に達した経緯を記入しても構いません。さらに、できるだけ具体的な図を描いているかも重要です。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p.A-10『口述試験要領』を参照してください。

考えたロボットをMicrosoft PowerPointを用いて説明できるように準備をしてください。実際にロボットを作製し、そのロボットを用いて説明することも可能です。また、説明用の資料を配付することも可能です。その際は2部準備してください。

【 必: 必須 ○: 可能 ×: 不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	必	大学で準備します。Windows版のMicrosoft PowerPoint 2021、2019、2016のいずれかで作成されたファイルをUSBメモリに保存して持参してください。(HDMI端子で映像出力可能なノートパソコンがある場合は持参して利用しても良い。) 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	2部

工 学 部 機械システム工学科

●湘南キャンパス

■ 課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

(1) 〈探究課題タイプ〉

機械システム工学科では、自動車、鉄道、航空機、ロケットなどのモビリティや産業用ロボット、アシストスーツ、人型ロボット、ドローンに代表される知能ロボットなど、われわれの生活を豊かにする様々な「機械システム」について学びます。以下に示す3つの観点を参考にして、あなたが興味をもった機械システムを1つ選んでください。

- (a) その機械システムの歴史について (例えば、自動車の歴史、アシストスーツの歴史、二足歩行ロボットの歴史、ドローンの歴史など)
- (b) その機械システムの実社会での活用 (例えば、様々な場所への移動手段、人のサポートなど)
- (c) 高校までの科目と機械システムとの関係 (例えば、数学、力学や電気など)

あなたが興味をもった機械システムについて、以下の①から③の3点を含めてまとめてください。また、④についても記述してください。

- ①なぜその機械システムに興味を持ったか
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についてのあなたの考察
- ④機械システム工学科で身につけたい力や学びたい内容

(2) 〈探究活動報告タイプ〉

高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の3点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どんな方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか

(3) 〈高大接続タイプ〉

工学部機械システム工学科のオープンキャンパスに参加し学んだことを踏まえ、入学後に身につけたい力や学びたいことについてまとめてください。なお、オープンキャンパスの日時等の詳細は東海大学のホームページでご確認ください。

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4用紙(ヨコ書き、20字×20行)5枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、図)2,000字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・指定された形式になっているか。
- ・的確なタイトルがつけられているか。
- ・調べた参考文献等の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉で記述しているか。
- ・記述内容に明らかな間違いはないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

なお、メモを持参しての発表は可能ですが、発表用原稿としてそのまま読むことは不可とします。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。持参しても構いません。パソコンを持参する場合はVGA端子またはHDMI端子のいずれかのケーブルが接続可能なパソコンを持参してください。大学のパソコンを利用する場合は、Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を1部持参してください。
④配付資料	×	

工学部 電気電子工学科

●湘南キャンパス

課題

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

(1)〈探究課題タイプ〉

電気・電子・情報・通信技術は、私たちの生活の中で広く利用されており、現代社会に必要な不可欠な技術です。電気工学・電子工学は、発電・送電などの電力技術や、電気自動車・ロボットを制御する技術、半導体集積回路に代表される電子デバイスや、電気・電子機器の設計・製造技術などを支える学問です。また、情報化社会に欠かせないインターネットなどの技術を支えているのが情報・通信工学です。これら電気・電子・情報・通信工学分野の科学技術のうち、あなたが興味をもったものについて、以下の①から④の4点を含めてまとめてください。また、⑤についても記述してください。

- ①なぜその科学技術に興味を持ったか
- ②取り上げた科学技術が、私たちの豊かな生活の実現にどのように貢献しているか
- ③取り上げた科学技術が抱える課題および課題に対する解決策
- ④③の課題および課題に対する解決策についてのあなたの考察、提案
- ⑤電気電子工学科で身につけたい力や学びたい内容

(2)〈探究活動報告タイプ〉

高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の4点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どのような方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか
- ④得られた結果についてのあなたの考察

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4用紙（ヨコ書き、20字×20行）2,800字程度、7枚程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、40字×36行）2,800字程度、2枚程度
- 図表や写真を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表や写真は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献は文章や図表とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- 調べた参考文献の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉でわかりやすく記述しているか。
- あなたの考えや提案が十分に検討されており、わかりやすく述べられているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は8分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を12分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- 資料（図表や文章など、工作物も可能）を用いて説明してください。
- 発表に用いる資料（図表や文章など、工作物も可能）は、面接者等にも見やすいように準備してください（例：資料をA3判に拡大する、模造紙を用いる、パソコンを用いる等）。
※資料の枚数に制限はありません。
※評価は資料媒体の種類には関係しません。
- 発表の際には、手元の資料としてメモなどを見ても構いません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	○	枚数は任意
②プロジェクター	○	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016、2019、2021 のいずれかで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	使用する場合は3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	○	工作物

※「①」、「②・③」、「④」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「①～⑤」の組み合わせも認めます。

■ 課題

下記の 2 つの課題 (1)、(2) から 1 つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

(1) 〈探究課題タイプ〉

医工学科の学びに関連する探究のテーマを選ぶために、以下に示す 2 つの観点を参考にして、自分が興味を感じた探究のテーマを決めてレポートを作成してください。

- (a) 医療機器の歴史と進歩について (現代と過去の診断技術の比較)
- (b) 物理現象の医療機器への応用 (例えば X 線装置、超音波診断装置、聴診器、体温計など)

あなたが興味をもったテーマについて、以下の①から③の 3 点を含めてまとめてください。また、④についても記述してください。

- ①なぜそのテーマに興味を持ったか
- ②調べたことで得られた結果
- ③得られた結果についてのあなたの考察
- ④医工学科で身につけたい力や学びたい内容

(2) 〈探究活動報告タイプ〉

高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の 3 点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どんな方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか

■ 形式

- ・必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4 用紙 (ヨコ書き、20 字× 20 行) 5 枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙 (ヨコ書き、図) 2,000 字程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・指定された形式になっているか。
- ・的確なタイトルがつけられているか。
- ・調べた参考文献の内容をそのまま記述するのではなく、その内容を理解してあなたの言葉で記述しているか。
- ・記述内容に明らかな間違いはないか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉(質疑応答含む)」及び「面接試験 (口述試験含む)」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験 (口述試験含む) を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- ・上記の課題の中であなたが選んだものを説明できるように準備してください。
- ・課題の発表はパソコンを使用してください。必要な機器は大学で準備します。
- ・メモを持参しての発表は可とします。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降で作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を 1 部持参してください。
④配付資料	×	

工 学 部 生物工学科

●湘南キャンパス

■ 課題

- 下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。
- (1) 生命科学に関連する最近の話題の中で、今後重要な問題として浮上するであろう事柄の1つを取りあげ、その問題点や解決に対する社会の取り組みを調査し、あなた自身の意見とともに報告してください（例：再生医療、遺伝子組換え食品、感染症、iPS細胞、クローン技術など）。
 - (2) 過去のノーベル化学賞または生理学・医学賞の研究を1つ取りあげ、その内容（研究の背景、課題解決の方法、研究の成果、社会に与えた影響）を報告してください。また、その研究の応用や将来の発展について、あなたの考えを説明してください。
 - (3) 高等学校で実施した探究活動や課外活動の成果をまとめてください。内容としては、探究活動や課外活動の目的、テーマを選んだ経緯や背景、調査や実験などの方法、それにより得られた結果、結果から考察されること、参考にした資料等を記載してください。グループで行った活動成果の場合は、そのなかで自分が果たした役割を明記してください。

■ 形式

- ・タイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,200 字以内
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙 1,200 字以内
- ・図表等は、指定された字数には含みません。
- ・参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題を選択した理由が簡潔に述べられているか。
- ・課題について調査に用いた手段の適切性や調査努力の質と量が十分であるか。
- ・第二次選考での発表を見越した課題のまとめかた、理解がなされているか。
- ・調査した結論とともにあなたの意見が記述されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

発表に際して、資料などを見ても構いません。発表の補助として、模造紙2枚程度または、パソコン、プロジェクター等を使用しても構いません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	2枚程度
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	○	HDMI または VGA 端子のパソコン、タブレット端末等を持参してください。 その他の端子の場合は、HDMI または VGA 端子への変換ケーブル等を必ず持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	使用する場合は3部（面接者2部、受験生1部）

工学部 応用化学科

●湘南キャンパス

課題

応用化学科は、「化学」を深く学び、社会と人が豊かになる技術や未来を創造する学科です。応用化学科で学ぶ専門分野・キーワードは、プラスチック、医薬品をはじめとした「有機化学」、セラミックス、電池などの「無機化学」、化学物質の性質、次世代エネルギーを考える「物理化学・エネルギー工学」、環境問題、水処理、リサイクル技術、化学製造プロセスを扱う「化学工学」です。

下記の2つの課題(1)、(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

(1)〈探究課題タイプ〉

応用化学科の学びに関連する探究のテーマを選ぶために、以下に示す3つの観点を参考にして、自分が興味を感じた探究のテーマを考えてください。

- (a) 身近にある化学製品 (例えば、プラスチック製品、合成繊維、合成洗剤、医薬品、化粧品、食品化学、化学電池 (リチウムイオン電池など)、ガラス、陶磁器など)
- (b) 次世代エネルギーとして期待される化学技術
- (c) 現代社会で問題となっている環境問題

あなたが興味をもったテーマについて、以下の①から③の3点を含めてまとめてください。また、④についても記述してください。

- ①なぜそのテーマに興味を持ったか
- ②調べたことで得られた結果 (必要があれば、図や表を添付してください。)
- ③得られた結果についてのあなたの考察
- ④応用化学科で身につけたい力や学びたい内容

(2)〈探究活動報告タイプ〉

高等学校での総合的な探究の時間や課外活動等で取り組んだ内容について、以下の3点が明らかになるようレポートを作成してください。

- ①どのように課題を見つけたか
- ②どんな方法で情報を収集したか
- ③どのように整理・分析したか

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4用紙 (ヨコ書き、20字×20行、800～1,200字程度) 2～3枚程度
- パソコン等で作成する場合：A4用紙縦 (ヨコ書き、800～1,200字程度)
- 図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 指定された形式になっているか。
- 的確なタイトルがつけられているか。
- 調べた参考文献の内容を理解して、他者が正しく理解できるようにあなたの言葉で記述しているか。
- 提出した課題の文章に文法的な誤りや誤字・脱字はないか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表 (プレゼンテーション) (質疑応答含む)」及び「面接試験 (口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験 (口述試験含む) を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

選択した課題の内容を口頭で発表できるよう、発表内容をプレゼンテーション用ファイル、または模造紙にポスターとしてまとめてください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表 (プレゼンテーション) で使用できる機器等について

①模造紙	○	1～2枚
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	○	大学で準備します。持参しても構いません。パソコン等を持参する場合はVGA端子またはHDMI端子のいずれかのケーブルが接続可能であることを確認してください。 大学のパソコンを使用する場合は、Windows版のPowerPoint2016以降で作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を1部持参してください。
④配付資料	○	使用する場合は3部 (面接者2部、受験生1部)

※「①」、「②・③」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。なお、「④」は必要に応じて選択した発表形式の補助資料として用いてください。「④」のみによる発表はできません。

課題

下記の2つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

(1) 〈探究課題タイプ〉

以下のキーワードを参考に、あなた自身の体験、新聞・テレビ報道、書籍・雑誌、インターネットなどを通して、あなたが関心を持った事柄の一つを選び、その現状と原因、問題点などを調べて整理し、その事柄に対するあなた自身の意見をまとめてください。

キーワード：地球温暖化、気候変動、脱炭素社会、海洋環境、ブルーカーボン、地殻変動、マントル、海流、地震・津波、資源開発、鉱物資源、海洋管理、海洋政策、船舶、水中ロボット、海洋エネルギー、洋上システム、リモートセンシング、潜水調査、農林水産業、海洋ビジネス

(2) 〈探究活動報告タイプ〉

高校での授業や課外活動で自主的に取り組んでいる研究活動について、その目的や方法、そこから得られた結果から導かれるあなた自身の考えについてまとめてください。

形式

- 必ずタイトルと氏名をつけてください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）5 枚（2,000 字）程度（タイトル・氏名を含む）
- パソコン等の場合：A4 用紙（ヨコ書き、30 字× 34 行）2 枚（2,000 字）程度（タイトル・氏名を含む）
- 図表を用いて説明する場合は、文章とは別にして A4 用紙 3 枚以内にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考資料及び文献の一覧は、文章や図表とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 提出した課題の内容を的確に表すタイトルになっているか。
- あなた独自の見解や考えが述べられているか。
- 論述の展開に用いた図表が的確かつ十分であるか。
- 参考資料・文献の出典が明記されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を 3 部持参してください。
④配付資料	×	

課題

下記の課題について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

あなたが特に重要と思う海事分野に関連する問題を1つ挙げ、現状をまとめ、さらにその問題を解決するためにどうすればよいのか、あなたの考えを述べてください。以下の4点が明らかになるようにレポートを作成してください。

- ①その問題に関心を寄せるようになった理由
- ②調べたことで得られた結果
- ③その問題を解決するためのあなた自身の考え
- ④その問題を深く理解するために用いた参考文献（本やその他の資料）

形式

- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）6 枚以内
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 20 行）3 枚以内
- ・図表は文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題で求められていることを十分に盛り込んでいるか。
- ・調べた結果に対してあなたの意見が述べられているか。
- ・課題に対する調査が詳細に行われているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

課題発表は、下記のいずれかの方法で発表してください。なお、発表の際は手元の資料として、第一次選考時に提出した課題のコピーやメモなどを見ても構いません。

- ①模造紙 2 枚以内に課題内容をわかりやすくまとめたものを準備して発表する。
- ②PowerPoint に課題内容をまとめ、ノートパソコン（OS は Windows7 または Windows10、PowerPoint のバージョンは 2016 以降）を用いて発表する（スクリーンに投影しながらの発表となります）。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使える機器等について		
①模造紙	○	2 枚以内
②プロジェクター	○	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを CD-R または USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	×	

※ 「①」、「②・③」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

課題

下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) サンゴ、タナゴ類、タツノオトシゴ等のような絶滅が危惧されている生物や、クロマグロ、ニシン、サクラエビ等のような水産資源として保護の必要がある水生生物を1つ取り上げ、その生物の保護や生息環境の保全について現状を調べるとともにあなたの考えを書いてください。
- (2) あなたが一番興味をもっている水生生物をあげ、その生物に興味をもった理由、さらに今までにその生物のことについて調査したり、飼育したりして得られた知識や経験を具体的に書いてください。
- (3) 水産加工食品を1つ取りあげ、その食品に興味を持った理由、さらにその食品についての歴史、製法と製造上の工夫点、栄養機能等について調べてまとめなさい。加えて、その食品をプロモーションするに当たっての自身のアイデアを述べなさい。

形式

- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字×20 行）2 枚程度（800 字程度）
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、一枚あたりの文字数は自由、文字サイズは 10.5 ポイント以上）800 字程度
- ・図表を添付する場合：図表は本文とは別にし、A4 用紙で作成すること。なお、図表は指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・調査結果や他人の考えと、あなたの意見をきちんと分けて表現しているか。
- ・独創的な意見をもっているか。
- ・作文方法、日本語表現が適切か。また、起承転結の構成になっているか。
- ・課題に対してあなたがどの程度深く調査、取りまとめをしているか。

第二次選考について

上記の（1）～（3）の中であなたが選んだ課題について、さらに掘り下げて発表用資料にまとめてください。また、詳しく科学的に調査・研究する方法を考え計画を立案してください。さらに、それらの研究がどのように社会に還元されるかについて、あなたの考えをまとめてください。

〔資料の作成の際の注意点〕

基本的に図書や文献を用いて資料を作成してください。インターネットについては、官公庁などの公式 Web サイトからの引用は認めますが、個人の Web サイトを引用することについては禁止します。資料の最後に、図書や文献の名称、Web サイトの名称と URL を明記してください。

〔発表方法〕

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- ・発表用資料を 3 部作成して当日持参し、そのうち 2 部を面接者に提出してください。面接者に提出した資料は、発表終了後、返却します。
- ・発表用資料は、A4 用紙で作成してください。
- ・発表用資料に基づき、口頭で発表してください。模造紙、プロジェクターなどは使用できません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		
③パソコン		
④配付資料	必	3 部（面接者 2 部、受験生 1 部）

課題

下記の課題について、所定の形式に沿って報告書を作成し提出してください。報告書の構成は目的、方法、結果、考察、参考資料とし（下記参照）、文字数が全体で 4,000 字程度（図表と参考資料を除く）となるようにまとめてください。なお、インターネット上の文章の丸写し、もしくはそれに近いと判断される内容については減点の対象となります。また、報告する内容は本年度の課題公表後に総合型選抜出願のためだけにあなたが単独で行った新規の研究に限ります。課外活動のグループ研究の成果や、先輩・友人等が行った研究成果の流用、学校、水族館や研究機関等で助力（機器類・試薬等の借用を含む）を受けたものは認めません。生成 AI 等で作成した文章の使用は不正行為となることがあります。

（課題） 自宅などで飼育されている生物、あるいはあなたが注意深く観察できる身近な野生生物の生態や行動に関して、あなたが興味や疑問を持った点について実際に実験や観察を行い、それについて下記の要領で報告書を作成してください。

（報告書の構成） テーマ：報告するテーマを記載してください。

目的：あなたがその課題を選びテーマを設定した理由や目的、背景などを説明してください。

方法：調査や観察、実験の方法などについて詳しく説明してください。

結果：得られた結果を具体的なデータ（図表・グラフ・写真など）として提示し、その内容を説明してください。

考察：結果を分析し、解釈・推察・予測・仮説をたてるなど、結果に基づいて内容を発展させてください。このとき、必要に応じて過去の知見との関連にも言及してください。

参考資料：参考にした資料（文献や映像など）の出典は明確にしなければなりません。資料名（書名・雑誌名・DVD タイトルなど）、発表者名、発表年を分類して正確に記述してください。なお、インターネット上には、出典の曖昧な情報や信頼性の低い記述も多く存在します。個人が開設しているホームページで自由に掲載された話題などは、出典を明記していないものも多く見られます。出典が明確でない情報は、参考資料としては認めません。

形式

- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）10 枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、34 字× 30 行）4 枚程度
- ・図表を用いて説明する場合は、図表は文章とは別にして、A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・興味や疑問を持ったことをさまざまな方法で追求しているか。
- ・観察や調査の結果をわかりやすくまとめているか。
- ・あなたの理解や考えが記述されているか。
- ・課題内容を的確に理解し、自分で問題を展開しているか。
- ・ユニークな視点で調査・観察・分析がなされているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- ・課題発表は、報告書の内容を網羅して 10 分程度にわかりやすくまとめてください。
- ・課題発表はノートパソコンを用いプロジェクターで投影して行うので、離れたところからでもはっきりと内容が見える資料を準備してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します（本人持参が望ましい。その際は Windows 版であることと、入力端子は HDMI 端子であること）。Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を 2 部持参してください。
④配付資料	×	

人文学部

人文学科

●静岡キャンパス

■ 課題

人文学科入学後に学びたいことについて、下記の2つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) あなたが今まで関心をもって挑戦的に取り組んできたことを踏まえ、入学後に学びたいことについてまとめてください。
- (2) 人文学部が主催する高校生対象のワークショップ^(*)に参加し学んだことを踏まえ、入学後に学びたいことについてまとめてください。

※ワークショップは、2025年8月3日(日)に開催します。

ワークショップへのエントリーは、2025年6月1日(日)から7月31日(木)まで受け付けます。

ワークショップにエントリーした人で、やむをえず参加できなかった場合でも、課題(1)での出願は可能です。

詳細については、東海大学人文学部のホームページをご確認ください。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)、2,000字程度、5枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、40字×30行)、2,000字程度、2枚程度
- ・参考文献がある場合は本文の最後にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題が求める内容を十分満たしているか。
- ・これまでの経験や活動内容及びあなたの意見が具体的に述べられているか。
- ・課題の内容が、あなたの言葉で表現できているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- ・上記課題について、説明できるよう準備してください。
- ・発表の際には、手元の資料として課題のコピーやメモなどを見ても構いません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用する模造紙や資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表(プレゼンテーション)で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		大学で準備します
③パソコン	○	大学で準備します。持参しても構いません。 大学のパソコンを使用する場合は、Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 パソコンを持参する場合は、VGA端子またはHDMI端子のパソコンを持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
④配付資料	○	A4用紙3部(面接者2部、受験生1部)

※「②・③」、「④」のいずれかをを用いて発表してください。

文理融合学部

経営学科

●熊本キャンパス

課題

経営学科には、企業経営分野、スポーツビジネス分野、アグリビジネス分野があります。
下記の6つの課題から1つを選び、下記の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 少子高齢化が進み、日本経済の活力が低下してきています。日本の経済を再び元気にするためには、どんな産業に力を入れていくのがよいか、具体例をあげてあなたの意見を述べてください。
- (2) 誰もが簡単に運動やスポーツに親しめるように、総合型地域スポーツクラブの設立や、Jリーグの地域貢献事業、さまざまなスポーツの地域独立リーグやクラブチームの設立など、近年日本におけるスポーツでの変化が起こっています。具体例をあげて、このような変化に対するあなたの意見を述べてください。
- (3) 日本の植物はさまざまな原因によって、絶滅の危機に直面しているものも少なくありません。その要因は道路工事、園芸採取、自然の移り変わり等、いろいろ考えられます。あなたが考えつく「植物を絶滅に追い込む要因と保護活動」について、具体例をあげてあなたの意見を述べてください。
- (4) いまや世界各国とのヒト・モノ・カネの動きが盛んになってグローバル化が進んでいます。「企業経営分野」「スポーツビジネス分野」「アグリビジネス分野」から具体例をあげて、グローバル化に対するあなたの意見を述べてください。
- (5) 地域の活性化策は、その地域に新たなビジネスを生み出します。あなたの住んでいる地域で行われている地域活性化の試みや、あなたが考える地域活性化のためのアイデアについて述べてください。

〈探究活動報告タイプ〉

- (6) 総合的な探究の時間に取り組んだ内容について述べてください。

形式

- ・選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）3,000 ～ 4,000 字程度、7 ～ 10 ページ程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、35 字× 30 行）3,000 ～ 4,000 字程度、3 ～ 4 ページ程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別に A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・課題に使用した図書、インターネットのサイト等は、必ず参考文献として明記してください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。参考文献は文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題で求められている内容に沿っているか。
- ・調べた結果とともに、あなたの意見も記述されているか。
- ・参考文献が明記されているか。
- ・文章が論理的に段落分けされているか。
- ・誤字・脱字がないか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 10 分程度とし、それに対する質疑応答を 5 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 10 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- ・模造紙を使用して発表する場合は、黒板に貼りつけて発表してください。
- ・パソコンで発表する場合は、PowerPoint で作成してきたものを、プロジェクターでスクリーンに投影して発表してください。
- ・配付資料で発表する場合は、1 部を手元に置き、残り 2 部を面接者に渡して発表してください。
- ・発表の際には、メモなどを見ても構いません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で使用できる機器等について

①模造紙	○	四六判（788mm × 1091mm）、2 枚程度
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	○	大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	A4 用紙 3 部（面接者 2 部、受験生 1 部）

※ 「①」、「②・③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

■ 課題

- 下記の3つの課題から1つを選び、下記の形式に沿って作成したものを提出してください。
- 〈探究課題タイプ〉
- (1) 国内旅行で行きたい観光地を1つ選び、その観光地を選んだ理由、興味ある自然、歴史・文化、生活スタイル、産業などの観光資源について具体的に述べてください。そして、これらの観光対象を活用した1泊2日の旅行プランを作成し、旅行者を誘致するためのセールスポイントを説明してください。
 - (2) 企業等の広告宣伝は、テレビCMや新聞・雑誌だけでなく、SNS等のネットの活用など幅広い展開を見せています。現在、流れているCMの中から、最も印象に残っているCMを選び（ジャンルは自由、複数でも可）、その内容を示し、特徴やポイント、改善点について、あなたの考えや意見をまとめてください。
- 〈探究活動報告タイプ〉
- (3) 総合的な探究の時間に取り組んだ内容について述べてください。

■ 形式

- ・選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）2,000字程度、5枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、35字×30行）、2,000字程度、2枚程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・書籍やインターネットを参照した場合、文末に明記するようにしてください。書籍については書名・著者名・出版社・発行年月日、参考ホームページについてはURLとアクセスした日時を記入してください（指定された字数・枚数には含みません）。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・課題に適切に対応した内容になっているか。
- ・客観的な記述、論理的な構成になっているか。
- ・誤字・脱字がなく、文書作法を適切に守っているか。
- ・課題についてあなたが考えたことを明確に伝えられているか。

■ 第二次選考について

- 第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。
- 口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。
- ・模造紙を使用して発表する場合は、黒板に張り付けて発表してください。
 - ・パソコンで発表する場合は、PowerPointで作成してきたものを、プロジェクターでスクリーンに投影して発表してください。
 - ・配付資料で発表する場合は、1部を手元に置き、残りの2部を面接者に渡して発表してください。
 - ・発表の際には、メモなどを見ても構いません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用する模造紙や資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について		
①模造紙	○	四六判（788mm×1091mm）、2枚程度
②プロジェクター	○	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	A4用紙3部（面接者2部、受験生1部）

※ 「①」、「②・③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

課題

下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿ってレポートを作成してください。

- (1) 人間情報工学科では、コンピュータ、人工知能、半導体、環境計測、医療機器等について学びます。あなたが最も関心のあるテーマを1つ選択し、その概要や最近の話題について調べ、以下の点を含めてレポートを作成してください。
- ①そのテーマに関心を持った理由
 - ②そのテーマについて調べた結果(どのような知見が得られたか)
 - ③その結果に対するあなたの考え(考察や意見)
- (2) 代表的な生命維持管理装置の一つに血液浄化装置があります。本装置がどのような状態の患者に用いられるのか、またその効果についてわかりやすく説明し、あなたの考えや感想を加えてレポートにまとめてください。また、この課題に関心を持った理由についてもレポートに記述してください。

〈探究活動報告タイプ〉

- (3) 総合的な探究の時間や課外活動などで取り組んだ研究や実験の内容をレポートにまとめてください。レポートには、タイトル、研究や実験の目的、調査方法や実験方法、得られた結果、考察や結論などを記述してください。

形式

- ・選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)2,000字程度、5枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、35字×30行)、2,000字程度、2枚程度
- ・図表を用いる場合、図表は本文中に挿入してください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・参考文献は本文末尾にまとめて記載してください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・あなたの興味や関心、その課題に取り組んだ理由が明記されているか。
- ・調べた結果、どのような知見が得られたか明記されているか。
- ・あなたの考え(考察や意見)が明記されているか。
- ・具体的でわかりやすい記述をしているか。
- ・文章中に誤字・脱字がないか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- ・模造紙を使用して発表する場合は、黒板等に張り付けて発表してください。
- ・パソコンで発表する場合は、PowerPointで作成してきたものを、プロジェクターでスクリーンに投影して発表してください。
- ・配付資料で発表する場合は、1部を手元に置き、残りの2部を面接者に渡して発表してください。
- ・発表の際には、メモなどを見ても構いません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用する模造紙や資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	○	四六判(788mm×1091mm)、2枚程度
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	○	大学で準備します。持参しても構いません。 大学のパソコンを使用する場合は、Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 パソコンを持参する場合は、HDMI端子のパソコンを持参してください。 VGA端子等その他の端子のパソコンの場合は、HDMI端子への変換ケーブル等を必ず持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	A4用紙3部(面接者2部、受験生1部)

※「①」、「②・③」、「④」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

課題

下記の2つの課題(1)～(2)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

- (1) 作物、果物、野菜、花、野生植物、昆虫、土壌、品種改良、環境と農業の関わり、安全で安定した食料生産など、いずれか1つ勉強してみたいことについて調べ、その内容をまとめてあなたの考えを述べてください。その際、以下の点がはっきり分かるように書いてください。
- ①そのテーマに関心を寄せるようになった理由やきっかけ
 - ②何をどのようにして調べたか
 - ③調べた結果得られた知見
 - ④あなた自身の考え

〈探究活動報告タイプ〉

- (2) あなたはどのような目的で全国農業高等学校長協会認定のアグリマイスター顕彰に関連する資格取得や競技会活動に取り組んできたかを述べてください。その際、以下の3点が含まれるように書いてください。
- ①具体的な資格や活動
 - ②それらの取り組みを通じて培った力がどのようなものか
 - ③その力を大学で更にどのように発展させていきたいかとその理由

*課題作成にあたっては、必要に応じて本、新聞、雑誌、インターネットのホームページなどを参考にしてまとめ、文章の他に図、グラフ、表、写真などを加えることもできます。なお、参考にした資料については、出典を明記してください。

形式

- ・選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）1,600字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、32字×25行）1,600字程度
- ・参考にした文献（書名、著者名、出版社等）やインターネットで調べた情報（ホームページ名、URL等）等のリストは別紙（A4用紙）に明記してください。
- ・図表や写真などを用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめ、添付資料としてください。枚数制限はありません。
- ・参考文献は、指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・調べた内容だけでなく、あなた自身の考え方が記述されているか。
- ・調べた内容が具体的に記述されているか。
- ・文章中に誤字・脱字がないか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

発表の際は次の4つの形式のいずれかで発表してください。

- (a) 発表内容をまとめた模造紙（下表参照）をホワイトボードに貼りつけて発表する
- (b) PowerPointで作成してきた内容をパソコンとプロジェクター（下表参照）を用いて発表する
- (c) 発表内容をまとめた配付資料（下表参照）を用いて発表する
- (d) ホワイトボードに発表内容を板書して発表する

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で使用できる機器等について

①模造紙	○	四六判（788mm×1091mm）程度、2枚以内
②プロジェクター		大学で準備します。
		大学で準備します。
③パソコン	○	Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	A4用紙5枚以内、3部（面接者2部、受験生1部）
⑤その他	○	板書（ホワイトボード、マーカー等は大学で準備）

※「①」、「②・③」、「④」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

課題

- 下記の5つの課題(1)～(5)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。
- 〈探究課題タイプ〉
- (1) 動物、生物学あるいは環境に関して、あなたが勉強してみたい事項について。
 - (2) 乳、肉、卵などの食材を提供する動物の生産性や安全性、利用の持続可能性等に関する最近の話題や問題点について。
 - (3) あなたが興味を持っている動物(家畜、野生動物、ペット、動物園動物など)とヒトとのかかわりについて現状と問題点およびその動物とより良い関係を築くために必要な事項について。
- (1)～(3)では
- ①選んだテーマに関心を寄せるようになった理由
 - ②選んだテーマについて調べるために用いた参考文献(本やその他の資料)
 - ③調べたことで得られた結果
 - ④その結果に対するあなた自身の意見
 - ⑤農学部動物科学科で身につけたい力や学びたい内容
- が含まれるように書いてください。
- 〈探究活動報告タイプ〉
- (4) あなたはどのような目的で全国農業高等学校長協会認定のアグリマイスター顕彰に関連する資格取得や競技会活動に取り組んできたかを述べてください。
 - (5) 総合的な探究の時間に取り組んだ内容について述べてください。
- (4)・(5)では
- ①具体的な資格や活動
 - ②それらの取り組みを通じて培った力がどのようなものか
 - ③その力を大学で更にどのように発展させていきたいかとその理由
- が含まれるように書いてください。
- *課題作成にあたっては、各自で調査を行うほか、書籍や新聞などの情報媒体を活用して調べてください。また、高等学校や個人などで実験や研究をしたことがある場合にはそのデータを用いて作成しても構いません。

形式

- ・選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- ・手書きの場合：A4原稿用紙(ヨコ書き、20字×20行)1,600字程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4用紙(ヨコ書き、32字×25行)1,600字程度
- ・参考にした文献(書名、著者、出版社等)やインターネットで調べた情報(ホームページ名、URL等)等のリストは別紙(A4用紙)に明記してください。
- ・図表や写真などを用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめ、添付資料としてください。枚数制限はありません。
- ・参考文献は、指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・調べた内容が、科学的根拠に基づいて具体的に記述されているか。
- ・調べた内容に、あなたの意見や経験が具体的に反映されているか。
- ・文章の構成が、問題提起・展開・結論の流れで論理的に記述されているか。
- ・誤字・脱字が無く、正しく記述されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表(プレゼンテーション)(質疑応答含む)」及び「面接試験(口述試験含む)」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験(口述試験含む)を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

発表の際は次の4つの形式のいずれかで発表してください。

- (a) 発表内容をまとめた模造紙(下表参照)をホワイトボードに貼りつけて発表する
- (b) PowerPointもしくはPDF形式で作成した内容をパソコンとプロジェクター(下表参照)を用いて発表する
- (c) 発表内容をまとめた配付資料(下表参照)を用いて発表する
- (d) ホワイトボードに発表内容を板書して発表する

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	○	四六判(788mm×1091mm)程度、2枚以内
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	○	大学で準備します。
		Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンまたはPDF形式で作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	A4用紙5枚以内、3部(面接者2部、受験生1部)
⑤その他	○	板書(ホワイトボード、マーカ等は大学で準備)

※「①」、「②・③」、「④」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

課題

食生命科学分野にはさまざまなテーマがあります。健康に関わる食料や食品成分の機能性、発酵食品などに用いられる微生物の有効利用、生命の仕組みに関わる遺伝子やタンパク質などがその例です。そこで、下記の3つの課題(1)～(3)から1つを選び、所定の形式に沿って作成したレポートを提出してください。

〈探究課題タイプ〉

(1) 健康的な生活を実現させるために、食と生命科学に関する研究は農学のみならず、薬学や医学など幅広い分野に応用されています。そのなかで、あなたが興味をもったテーマについて、以下の点を含めてまとめてください。

① どうして興味をもったのか ② 問題点とその解決についてのあなたの考え ③ 大学で学びたいことや将来の夢

〈探究活動報告タイプ〉

(2) 高等学校での総合的な探究の時間、課外活動、課題研究などで取り組んだ食や生命科学に関連した研究・実験について、以下の点を含めてまとめてください。

① どのように課題をみつけてどのような方法で情報を収集したのか ② どのように整理・分析してどのような結果・結論が得られたのか ③ 大学で学びたいことや将来の夢

(3) 全国農業高等学校長協会認定のアグリマイスター顕彰に関連する資格取得や競技会活動で取り組んだ内容について、以下の点を含めてまとめてください。

① どのような活動を行ったのか ② どのような経験と成果が得られたのか ③ 大学で学びたいことや将来の夢

* レポート作成にあたっては、必要に応じて文献やインターネットのホームページなどを参考にしてみてください。文章の他に図表や写真などを用いることもできます。

形式

- ・ 選択した課題番号を明記し、必ずタイトルをつけてください。
- ・ 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,600 字程度
- ・ パソコンなどで作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、32 字× 25 行）1,600 字程度
- ・ 参考にした文献（著者、書名、出版社、出版年など）やインターネットで調べた情報（ホームページ名、URL など）などのリストは文章とは別にして A4 用紙に明記してください。
- ・ 図表や写真などは文章や参考文献リストとは別にして A4 用紙にまとめてください。
- ・ 参考文献リストや図表などは指定された字数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・ 内容を的確に表現したタイトルになっているか。
- ・ 調べた内容が、科学的根拠に基づいて具体的に記述されているか。
- ・ 調べた内容に、あなたの意見や経験が具体的に反映されているか。
- ・ 文章の構成が、問題提起・展開・結論の流れで論理的に記述されているか。
- ・ 誤字・脱字が無く、正しく記述されているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

発表の際は次の4つの形式のいずれかで発表してください。

- (a) 発表内容をまとめた模造紙（下表参照）をホワイトボードに貼りつけて発表する
- (b) PowerPointで作成してきた内容をパソコンとプロジェクター（下表参照）を用いて発表する
- (c) 発表内容をまとめた配付資料（下表参照）を用いて発表する
- (d) ホワイトボードに発表内容を板書して発表する

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で使用できる機器等について

①模造紙	○	四六判（788mm×1091mm）程度、2枚以内
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	○	大学で準備します。
		Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を持参してください。
④配付資料	○	A4 用紙 5 枚以内、3 部（面接者 2 部、受験生 1 部）
⑤その他	○	板書（ホワイトボード、マーカー等は大学で準備）

※ 「①」、「②・③」、「④」、「⑤」の中であなたが選択したいいずれかの発表形式で準備してください。

■ 課題

下記の2つの課題1.と2.について、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- 1. あなたは、あなたの住む市町村の職員だと仮定してください。市町村長はあなたに、その地域を元気にするためのアイデアを求めています。あなたはどのようなアイデアを提案しますか？
- 2. 1. で考えたアイデアを実行しあなた自身が役割を果たすために、地域創造学科で身につけたい力や知識について、将来の夢や希望、目標に関連づけて具体的に述べてください。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,200 字程度、3 枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 35 行）1,200 字程度、1 枚程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。図表の枚数は特に制限しません。なお、図表は指定された字数・枚数には含まれません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・あなたの意見やアイデアが明記されているか。
- ・あなたの住む地域の実情（課題）が示されているか。
- ・具体的な事例が明記されているか。
- ・あなたの役割が書かれているか。
- ・論理的展開がなされ、結論が明解であるか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

発表の際には、手元の資料として、第一次選考出願の際に提出した課題のコピーやメモなどを見ても構いません。補助資料として、課題をわかりやすくするためにまとめたもの（A4用紙）を準備しても構いません。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		
③パソコン		
④配付資料	○	A4 用紙で課題をわかりやすくするためにまとめたものを 2 部

■ 課題

下記の3つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

- (1) 国際共通語とされる英語に関連するさまざまな事柄の中で、あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ取りあげ、その内容をまとめ、あなたの意見をつけ加えてください。テーマとしては、例えば、「アメリカとイギリスで使用されている英語の比較」、「企業における社内公用語としての英語について」など、具体的かつ柔軟に考えてください。
- (2) アジアの歴史や文化に関連するさまざまな事柄の中で、あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ取りあげ、その内容をまとめ、あなたの意見をつけ加えてください。テーマとしては、例えば、「中国の食文化について」、「韓国の映画や音楽について」など、具体的かつ柔軟に考えてください。
- (3) 欧米の社会や生活環境に関連するさまざまな事柄の中で、あなたが最も関心を寄せるテーマを1つ取りあげ、その内容をまとめ、あなたの意見をつけ加えてください。テーマとしては、例えば、「アメリカのプロ・スポーツについて」、「ヨーロッパの建物や町並みについて」など、具体的かつ柔軟に考えてください。

■ 形式

- ・手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,200 字程度、3 枚程度
- ・パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、40 字× 35 行）1,200 字程度、1 枚程度
- ・図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- ・課題作成に使用した書籍やインターネットサイトなどは必ず参考文献として明記し、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、参考文献は、指定された字数・枚数には含みません。

■ 課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- ・示す理由や選ぶテーマが曖昧だったり抽象的だったりせず、明確で具体的なものになっているか。
- ・理由やテーマにかかわる客観的な事実や数値データなどが、きちんと調べられているか。
- ・調べた結果だけでなく、あなたの意見も明記されているか。

■ 第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は10分程度とし、それに対する質疑応答を5分程度及び面接試験（口述試験含む）を10分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

発表に際しては、第二次選考のプレゼンテーション用に自ら工夫して模造紙にまとめた補助資料（図表など）を用いることができます。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	○	プレゼンテーション用にまとめた資料（図表など）2枚程度
②プロジェクター	×	
③パソコン		
④配付資料		

生 物 学 部

生物学科

●札幌キャンパス

課題

下記の2つの課題から1つを選び、所定の形式に沿って作成したものを提出してください。

(1) 〈探究課題タイプ〉

生物学に関連した分野から興味を持ったテーマに関して、複数の資料（本、雑誌、新聞、インターネットのホームページなど）を調べてまとめ、あなたの意見を述べてください。課題は、生物の教科書で取りあげられているテーマに限らず、自分の身近な問題や、世界的な問題などでも構いません。あなたと異なる立場の意見も紹介し、それに対するあなたの意見も記述してください。参考にした資料（参考文献）は、文章や図表とは別にまとめてください。

(2) 〈探究活動報告タイプ〉

高等学校の課題研究や課外活動などで実施した、生物学に関連した内容の研究・実験の内容をまとめてください。課題は、生物の教科書で取りあげられているテーマに限らず、生き物調査や生物と産業とのかかわりなどでも構いません。提出する課題には、課題名、研究や実験の目的、調査方法や実験方法、得られた結果、考察や結論などを記述してください。

形式

- 必ずタイトルをつけてください。
- 手書きの場合：A4 原稿用紙（ヨコ書き、20 字× 20 行）1,200 ～ 2,000 字程度、6 枚以内
- パソコン等で作成する場合：A4 用紙（ヨコ書き、35 字× 35 行）1,200 ～ 2,000 字程度、2 枚以内
- 図表を用いる場合は、文章とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含みません。
- 参考文献は文章や図表とは別にして A4 用紙にまとめてください。なお、参考文献は指定された字数・枚数には含みません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

共通評価ポイント

- 課題の内容を的確に表したタイトルがつけられているか。
- わかりやすい正しい文章で書かれているか。

課題（1）についての評価ポイント

- 選んだ研究や実験について、その目的や背景がわかりやすく述べられているか。
- 方法、結果、考察に矛盾はないか。

課題（2）についての評価ポイント

- あなたの意見を述べるために、調べた内容が適切に使われているか。
- あなたの考えが、経験したことを例にあげるなどしてわかりやすく述べられているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表〈プレゼンテーション〉（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて 25 分程度行います。課題発表は 7 分間（6 分～7 分、時間厳守）とし、それに対する質疑応答を 3 分程度及び面接試験（口述試験含む）を 15 分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- 発表は原則としてパソコンを使用してください。
- 発表時にはメモを使用することはできますが、原稿の棒読みは避けてください。
- Microsoft PowerPoint（Windows 版 2016 以降のバージョン）に課題内容をまとめ、ノートパソコン（Windows）を用いて発表します（スクリーンや壁に投影しながらの発表となります）。ノートパソコンと液晶プロジェクターは大学で準備しますので、作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。なお、データ消失などの万一の場合に備えて、内容を A4 用紙に印刷して 3 部持参してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表〈プレゼンテーション〉で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター		大学で準備します。
③パソコン	必	大学で準備します。 Windows 版の PowerPoint2016 以降のバージョンで作成したファイルを USB メモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を 3 部持参してください。
④配付資料	×	

生物学部 海洋生物科学科

●札幌キャンパス

課題

海洋生物科学科では、環境・生態科学として海洋や河川に生息する水圏生物の生理・生態やそれを取り巻く環境について学修します。また、水圏生物を人間が利活用するための水産科学も主要なテーマとなります。

下記の3つの課題から興味のあることを1つ選び、4,000字程度で課題を作成し提出してください。必要ならば図表を添付してください。

- (1) 海洋や河川、湖沼などにかかわる環境問題を1つあげ、どのようなことがどこで起こっていて、何が問題なのかを具体的に説明し、その問題の解決策や防止に対する取り組みについてあなたの考えを書いてください。
- (2) あなたが興味を持つ海や淡水の生物を1つあげ、その特徴、生態、飼育方法などを紹介してください。更に、興味を持った理由や実際にあなたが飼育する場合に考えられる問題点を指摘し、具体的な解決策をあなたなりに考えて書いてください。
- (3) 日本国内における増養殖の方法を1つあげ、どこでどのような増殖または養殖が行われているかを紹介し、その増養殖が抱える問題点を指摘し、その解決策をあなたなりに考えて書いてください。

形式

- 選択した課題番号を明記し、課題の内容を簡潔に表すタイトルを必ずつけてください。
- 手書きの場合：A4原稿用紙（ヨコ書き、20字×20行）4,000字程度、12枚以内
- パソコン等で作成する場合：A4用紙（ヨコ書き、35字×35行）4,000字程度、4枚以内
- 図表を用いる場合は、文章とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、図表は指定された字数・枚数には含まれません。
- 参考文献とインターネットのWebサイトのURLは文章や図表とは別にしてA4用紙にまとめてください。なお、参考文献とインターネットのWebサイトのURLは指定された字数・枚数には含まれません。

課題についての第一次選考での主な評価ポイント

- 日本語表現が適切であるか。
- 課題が求めている内容を十分満たしているか。
- 課題について調べた内容が、あなたの言葉で表現できているか。
インターネット上の文章、本や雑誌の丸写し、もしくはそれに近いと判断される内容については減点の対象となります。
- 課題に対してあなたの意見や考えが述べられているか。

第二次選考について

第二次選考では、上記課題についての「課題発表（プレゼンテーション）（質疑応答含む）」及び「面接試験（口述試験含む）」を合わせて25分程度行います。課題発表は7分間（6分～7分、時間厳守）とし、それに対する質疑応答を3分程度及び面接試験（口述試験含む）を15分程度行います。

口述試験内容は、p. A-10『口述試験要領』を参照してください。

- 発表は原則としてパソコンを使用してください。
- 発表時にはメモを使用することはできますが、原稿の棒読みは避けてください。
- Microsoft PowerPoint（Windows版2016以降のバージョン）に課題内容をまとめ、ノートパソコン（Windows）を用いて発表します（スクリーンや壁に投影しながらの発表となります）。ノートパソコンと液晶プロジェクターは大学で準備しますので、作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。なお、データ消失などの万一の場合に備えて、内容をA4用紙に印刷して3部持参してください。

【 必：必須 ○：可能 ×：不可 】 課題発表で使用した資料等は回収しませんので、各自必ず持ち帰ってください。

第二次選考の課題発表（プレゼンテーション）で利用できる機器等について

①模造紙	×	
②プロジェクター	必	大学で準備します。
③パソコン		大学で準備します。 Windows版のPowerPoint2016以降のバージョンで作成したファイルをUSBメモリに保存して持参してください。 万一の場合に備え、スライドを印刷した資料を3部持参してください。
④配付資料	×	